

還財源トシテ受益者負擔ヲ極メル譯デアリマス

○太田委員 サウスルト廻ツテ負擔スル勘定ニナリマスカ——支出シテ居ル金ノ利子ヲ廻ツテ負擔スルコトニナリマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 サウデス

○太田委員 郡部ノ受益者ガ既ニ七倍ニナツテ居ツテ——東京府ノ郡部ニ於ケル受益者負擔ガ道路ノ幅員ノ七倍ニナツテ居ツテ、東京市ノ道路ノ受益者負擔ヲ道路ノ幅員ノ假ニ七倍ニスル、東京府ト同ジヤウナ負擔方法ニスルトスレバ宜シイガ、市ノ方ヲ五倍トスレバ、丁度郡市ノ接續スル所ガ、東京市ノ施行スル所ハ五倍、東京府ノ施行スル所ハ七倍トナリマシテ、其間ニ二倍ノ差ガ出マスカラ、是ハ頗ル合法的デナイヤウニモ考ヘラル、ノデアリマスカ、此邊ヲ考ヘテ、假ニ市ノ方ヲ五倍トシテ原案ノ如ク施行スルトスルト、東京府民ハ又必ズ陳情書ニ出テ居ルヤウナ問題ヲ將來起スデアラウト思ヒマスカ、之ニ對シテ東京市ノ當局ノ御考ハ如何デアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 非常ニソレハムツカシイ問題デアリマシテ、例ヘバ千駄ヶ谷町ト云フヤウナ所ハ東京府知事ノ執行セラル、道路ノ受益者負擔ハ七日デアリマスカ、東京市長ノ執行スル部分モアリマシテ、其部分ハ五倍テ取ラレルト云フコトニナツテ居リマシテ、甚ダ理窟ガ附キニクイカト思ヒマスカ、大體ニ於キマシテ郡部ニ於ケル東京府執行ノ道路ハ、郡部トハ申シマシテモ

市部ト餘リ大差ノナイ所ガ主モデアリマス、勿論除外例モアリマスカ、除外例タルベキ部分ニ付テハ一寸私丈ケノ考ハ後ニ申シマスカ、現在事業ヲ執行シテ居リマス郡部ノ東京市長ノ執行道路ハ、市部ト餘リ變リガアリマセヌカラ、成ルベク市長トシテハ市内ト同ジ取扱ヲシテ行キタイト思ツテ居リマス、唯先程モ御話ガ出マシタヤウニ、小名木川ニ沿フタ江東方面ニアリマス道路、是ハ計畫丈ケデマダ執行ニナツテ居リマセヌガ、斯様ナ道路ハ市部ト同ジデアルト云フコトハ如何ニ強辯シテモ申上ゲニクイト思ヒマス、斯ウ云フヤウナモノニ付キマシテハ、私丈ケノ考デアリマスカ、斯ウ云フモノハ東京市長ガ執行スルノハ沿革ガアリマスカ、或ハ府知事ニ執行シテ戴クノガ良イノデアリマスカ、市トシテ考究ヲ要スル問題デアルト思ヒマス、小名木川ノ郡部ノ方ノ改修、ソレカラソレニ沿ヒマシタ二本ノ道路、今是ハ市長執行トナツテ居リマスカ、併シ考究スベキ問題ト思ヒマス、ケレドモ一應小名木川方面ノ道路ガ市ノ事業トナツテ執行サレルコトニナリマス、無理ガ出来ハシナイカト思ヒマス、現實ノ問題ハ山ノ手方面デアリマシテ、山ノ手方面ハ郡部デモ殆ド市部ト變リマセヌカラ、五倍ト云フコトデヤツテ戴キタイト思フノデアリマス

○太田委員 私ハ一體東京市ガ、財政ガ非常ニ困難デアツテ、東京市ノ事業サヘモ手廻リ兼ネルノニ、東京府ノ御手傳ヲシテ、府ノ都市計畫ノ路線ヲ多少ノ受益者負擔ガアルニシテモ、之ヲ市費ヲ以テ執行スルト云フコトハ、元來合理的デナイト思ツテ居ルモノデアリマス、東京府ノ仕事ハ東京

府ニヤツテ諸フベキ所ヲ、市ノ方ノ財政ガ非常ニ窮乏シテ居ル中デ、東京府ノコトニマデ手ヲ出サナケレバナラヌト云フコトハ甚ダ不合理デアルト思ツテ居リマス、所ガ大體市ノ當局ガ甘ジテ之ヲ引受ケ、現在著手セントスルモノガ一千六百萬圓モアツテ、ソレヲヤラウト云フノハ大膽ナ考デ、若シ全部ヤレバ一億圓ニモナル、ソレヲ此規定デ極メテ往カウト云フノハ不合理デナイカト思ヒマスガ、ドウ云フ譯カ東京市ノ方デ引受ケテ御出デニナル、引受ケテ御出デニナルコトハ不合理デナイカト云フコトヲ伺ツテ見タイ、是ハ東京府ニ讓ツテ御自分ノ頭ノ蠅ヲ追フノガ適當デナイカト考ヘルノデアリマス、第二ニ假ニ定メラレタ都市計畫ニ依ツテ決定セラレタコトヲ、義務トシテ市ガヤラナケレバナラヌトシテモ、山ノ手方面ニ屬スル事業ガ多イノデアリマス、一體人家ガ段々發展ヲシテ人口ガ稠密ニナツタ所ニ道路ヲ附ケルト云フコトニナルト、非常ニ費用ガ掛ツテ居住者モソレガ爲ニ、必ズシモ利益ヲ受ケナイカラ喜バナイ、却テ迷惑ヲスル、都市計畫ノ上カラ言ツタナラバ人家ノナイ方面ニ更ニ道路ヲ作ツタ方ガ土地モ開ケマスシ、又受益者負擔ヲスル地主モ喜ブト思フ、所ガ小名木川方面ノ如キハマダ殆ド僅ニ紙ノ上ニ線ヲ引イタ丈ケデ、少シモ御計畫モ立ツテ居ナイ、サウシテ此處ガ將來發展シテ人口稠密ニナツタ時分ニ餘計ノ金ヲ掛ケテ道路ヲ附ケル、斯ウ云フ事ハ東京市ノ發展ヲ期スル上カラ言ツテモ、工事ノ難易カラ言ツテモ、經濟ノ上カラ言ツテモ早ク此方面ニ道路ヲ附ケルコトガ策ノ得タルモノデナイカ、必要デナイカト思フノデアリマス、ケ

レドモソレガ爲ニ今・千駄ヶ谷ノ道路ハ不必要トハ思ヒマセヌガ、尠クトモ同時ニ御考ヘニナツテモ良カラウト思ヒマスガ、此邊ニ付テドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、此問題ヲ決ルニ付テ一應御意見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 此問題ノ第一ハ、東京府ト東京市トノ間ノ大キナ問題デ、既ニ決ツテアル問題デアリマスカラ、是ハ今私カラドウ斯ウト云フコトヲ申上ゲルコトハ如何カト考ヘマス、唯私トシテ考ヘテ居ルコトヲ申スノデアリマスガ、東京市ハ自分ノ頭ノ蠅モ追ヘナイノニ郡部ノ事業ヲ引受ケタノハドウ云フ譯カ、ソレハ是カラ大ニ私トシテハ研究シテ見タイト思ツテ居リマスガ、東京市トシテマダ斯ウデアルト申上ゲマス迄ニ立到ツテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ問題ハ既ニ開發シタル所ニ道路ヲ作ルコトハ工費モ掛リ居住者モ迷惑スル、而モ効果モ少ナイ、ソレヨリモ未發展ノ地ニ都市計畫トシテ道路ヲ新設シタナラバ却テ効果ガ多ク、負擔モ少ナイ、如何ニモソレハ御説ノ通りデアリマスガ、都市計畫トシテ決ツテ居リマス線ニ付テハ一樣ニ重キヲ置イテ考ヘテ居リマスケレドモ、御承知ノ通りノ財政ノ狀況デアリマシテ、マダソレ迄ニ手が届カナイノデアリマシテ、決シテ江東方面ノ方ヲ顧ミナイト云フ譯デアリマセヌガ、目下ノ現状ニ於テソレ迄手ガ伸シ切レナイト云フ實情ニ在ル次第デゴザイマス

○渡邊委員長 ソレデハ一應千六百萬圓デ實行サレル路線ニ付テ御説明ヲ願ツテハ如何デスカ、ソレ

ガ何處ニ在ルカ場所モ分ラナイト、第二條トカ第六條トカヲ判斷スルニ付テモ困リハシナイカト思ヒマスガ

七四二

「サウ願ヒマス」ト呼ブ者アリ」

○武部計畫課長 此圖面（壁上ニ掲出セル地圖ヲ指示ス）デ申シマスト青イ線ガ東京ノ都市計畫區域デアリマス、十哩ノ半徑デ圓ヲ描イタ形デアリマスガ、行政區劃ニ依ツテ幾ラカ凸凹ガ附イテ居リマス、此中デ黄色デ塗ツタノガ在來カラアル道路デアリマス、市區改正時代ニ擴築サレタモノデ、謂ハハ幹線ト稱スベキモノデアリマス、ソレカラ空色ガ震災後ノ復興計畫トシテ新設若クハ擴築セラレタ道路デアリマス、綠色デ塗ツタノガ是ガ大正十年ニ極マリマシタ道路計畫デゴザイマス、ソレカラ赤イノガ方々ニアリマスガ、是ガ昭和二年ニ決リマシタ大道路網計畫デアリマス、其中デ東京市ノ市郡ノ境ガ黄イ色デ塗ツテアリマス、大正十年ガ青、昭和二年ガ赤デアリマスガ、大體ニ於テ市内ガ市長執行デ、市外ガ知事執行ノ分デアリマス、其中デ豫算ヲ以テ事業ニ著手シテ居リマスノガ紫色ノ部分デアリマス、郊外ニ澤山アリマスガ、是ハ東京府知事ニ於テ現ニ執行シテ居リマス放射線、環狀線デアリマス、市内ノ分ハ矢張紫色ニ塗ツテアリマスガ、一千七百萬圓ニ近イ金デアリマス、是ハ方々ニ飛ビ／＼ニナツテ居リマス、此處ニ一線、此處ニ一線ト云フ工合ニアリマスガ、ソレ丈ケデ一千六百餘萬圓ノ計畫デ現ニ都市計畫事業トシテ、豫算ヲ以テ執行シテ居リマス道

路デアリマス、是ハ麻布ノ廣尾カラ四ノ橋ニ至ル線デアリマス、是ハ明治神宮ノ聯絡道路、是ハ慶應大學ノ裏ノ所ニ出マス道路デ、目下工事中ノモノデアリマス、是ハ穴八幡カラ早稻田・矢來下ノ道路、此縱ニナツテ居リマスノガ矢來下カラ音羽ニ行ク道路、早稻田ノ鶴卷町ヲ抜ケマス道路、ソレカラ此處ニ極ク小サイノガアリマス、是ハ大塚ノ辻町カラ向フニ這入ツタ所デアリマス、巢鴨ノ監獄ガ此邊ニ在リマス、大塚辻町ガ此角デ、辻町カラ監獄ノ脇ヲ經テ池袋ニ出ル此取附キノ所ヲ擴築シテ居リマス、ソレカラ是ハ植物園ノ下ノ低イ所デ千川筋ニ沿ヒマシタ道路デアリマス、ソレカラ是ハ上野ノ裏ノ上根岸デアリマス、此處デ郡部ニ這入ツテ居リマスガ、是ガ金杉ノ所デアリマス、ソレカラ是ガ札ノ辻ノ電車車庫ノ所、大體斯ウ云フヤウナモノヲ合セマスト千六百餘萬圓デアリマシテ、市内全體ニ於テ約一億圓デアリマス、ソレカラ郡部丈ケデ三億五千萬圓程ニナリマス、サウシテ今ノ受益者負擔ノ問題ニナツテ居リマス市長執行ノ分ガ、路線數ガ三十二、長サガ約十里半ホドデゴザイマス、但シ是ハ大正十年ノ分デアリマス、ソレカラ昭和二年ノ分ハ路線數ガ二十四、長サガ八里二分クラキニナリマス、兩方合セテ十九里計リデアリマス

○渡邊委員長 第八條ノ階層ノ定メハドウ云フ風ナ方法デアリマスカ

○武部計畫課長 ハツキリシタ腹案ヲ實ハ今持ツテ居リマセス、二階ヤ三階クラキデハ大キナ建物トハ言ヘナイカト思ツテ居リマス、ソレカラ特殊ノ營業ノ種願モ大キナ工場デアルトカ、劇場トカ

七四三

「デパートメントストア」ナドヲ豫定シテ居リマスガ、此外ニマダ具體的ニ調べマシタナラバ色々アラウカト思ツテ居リマス

○前田委員 先刻負擔區ノコトヲ伺ヒマシタガ、机上デ氣ニ掛リマス問題ハ難工事例ヘバ九段坂ノ所ニ大キナ陸橋ナドヲ造ル場合ニ、サウ云フ費用ヲ其近所ノ者丈ケガ負擔スルト云フコトハドウ云フモノデアラウカ、或ル種類ノ難工事ガアレバ都市全體ガ使フ一ツノ營造物デアルト見ルベキデアラカラ、其費用ハ全體ニ掛ケルガ良イト云フ考ガ起ツテ來ルノデアリマス、随ツテ負擔區ヲドノ位ニ決ルカト云フ御考ヲ伺ツテ置ク方ガ、審議ノ參考ニナラウト思フノデアリマス、尤モ事實上サウ云フ難工事ハナイ、大體「ベールメント」丈ケデアルト云フコトデアリマスナラバ、問題ハ自然消滅スルノデアリマスガ、其邊ハ如何デアリマスカ

○武部計畫課長 復興局デヤリマシタヤウナ難工事ハ先ヅナイト思ヒマス、橋トカ、切通シトカ云フヤウナモノハ幾ラカアラウト思ヒマスガ——市ノ方具體的ニ御考ガアレバ仰ツシヤツテ戴キマス
○堀切委員代理廣瀬東京市助役 マダハツキリ申上ゲル程度ノ案ヲ持ツテ居ラナイノデアリマスガ難工事ハ比較的少ナイト思ヒマス、二三箇所クラキノモノデアリマセウ、サウ云フ所ハ附近ノ負擔ヲ餘リ重クシナイヤウナ程度デ決ルコトニ致シタイト思ヒマス

○前田委員 サウ云フ場合ハ負擔區ヲ廣クシテ薄ク掛ケルノデスカ——ソレカラ今ノ郡部ノ問題ハ太

田委員ノ御話ガアリマシタガ、ソレハ府ナリ或ハ幹事ノ方ノ御意見ハ如何デアリマスカ、土地ノ人ハ又オカシナ感じヲ持ツデアラウト思ヒマス、市ノ五倍ト府ノ七倍ノ問題ハドウ云フコトニナルノデスカ、我慢サセルノデアリマスカ

○武部計畫課長 其點ハ良イ御意見ガアレバ私共ノ方デハ變ヘテモ良カラウト思ヒマスガ、府市トモ意見ガ一致シテ居ルト云フ所迄往ツテ居リマセウガ、滑カニ行クヤウナ心持ハ致シテ居リマス

○前田委員 淀橋カラ既ニサウ云フ意見ガ出テ居レバ、府ノ當局ハ之ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○武部計畫課長 度々研究致シマシタノデスガ、今迄出マシタ意見デハ府ハ全部七倍デ實行シテ居ルコトデアリマスカラ、成ルベク府ノ道路ノ方カラ見レバ七倍デ自分ノ方ダケハヤリタイ、市ハ市内トノ關係モアリマスカラ、自分ノ方デヤルノハ五倍デヤリタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、ケレドモ小名木川ノ路線ト云フヤウナモノガアリマスカラ、例外的ノ規定ヲ設ケルコトハ必要デナイカト思ツテ居リマス

○前田委員 市長ニ授權シテ居ル區域ハ七倍迄ヲ置クト云フコトニスルト、又反對ノ弊害ガアリマスカ

○武部計畫課長 運動ニ依ツテ皆七倍ニシナケレバナラヌト云フヤウナコトモ起ルト思ヒマス

○前田委員 郡部ト云フ制限ガアツタラドウナリマスカ

○武部計畫課長 實ハ今申シマシタヤウニ府・市ト私共ノ意見ガ必ズシモ一致シテ居ル譯デアリマセヌケレドモ、私共丈ケノ考ヲ申シマスト、仰セノヤウニ郡部ニ這入ツテ居リマス市長執行ノ道路ハ七倍クラキ迄擴張ガ出來ルト云フヤウナ規定デモ置イタラドウカト云フ、極ク未確定ナ意見デアリマスケレドモ、復興局ニ居リマス者トシテ、サウ云フ意見ヲ持ツテ居リマス

○中川健藏委員 私ハ其點モ實ハ聞イテ見マシタノデスガ——府ノ從來ノ規定ハ七倍デ、市ハ五倍ニナツテ居ルガ、ドウ云フ標準デ行クノデアルカト云フコトヲ聞イテ見タノデスガ、市ノ區域ノモノハ開ケテ居ルカラ受益者負擔區ノ狭イノハ當リ前デアルト云フコトデ、一應ノ理窟ガアルト思ツテ居リマス、ケレドモ立テ方次第デスカラ、市デアル道路ハ大部分ハサウデアルカラ——開ケタ土地デアルカラ五倍主義デ往キ、府ノ方ハ大部分ガ是カラ開ケル土地デアリマスカラ、受益範圍モ廣クナツテ然ルベキダト云フ原則デ往クノモノ一ツノ立テ方デアルト思ヒマス、又市ノヤル道路ハ五倍デ府ハ七倍デアルト、接續ノ所ニ往ツテ不都合ガ生ズルコトハドウモ仕方ガナイ、ソレヲ救フヤウニ特例ヲ設ケルト又弊害ガ起ル、ソレデ五倍七倍モ已ムヲ得ナイト思ツテ居リマスカ、市ガアルトカ府ガアルトカ云フコトデナク、郡部ニ屬スル道路ハ總テ七倍ニスル——府デ市ノ方ヲアルノガアルカドウカ知リマセヌガ——市部ニ屬スル道路ナラバ假令府ノ關係ノ道路デモ矢張五倍ニシテシマウ

ト云フノモ、是モ一ツノ主義デアリマス、ドツチガ良イカト云フコトハ私モ一寸此規定ヲ見タ計リデアリマスカラ、内輪デ調べテ能ク相談ヲシテ見テハドウカト思ヒマス、ソレカラ、モウ一ツハ郡部ノ方ニハ餘リナイト思ヒマスカ、市内ノ道路ハ受益者負擔ガ一本調子デ五倍ト云フコトニ規定シテアリマスカ、如何ニ難工事デモ五倍ト云フコトデハ今御話ニ出マシタ九段坂ノ難工事ト云フヤウナ場合ニ迷惑スル者モ出來マセウカラ、或ル認定方法ニ依ツテ、除外例ヲ設ケテ置ク方ガ良イカト思ヒマス、是モ内輪デ御相談ヲ致シタイト思ヒマス

○渡邊委員長 御質問モ餘リナイヤウデアリマスカラバ、成ルベク早く決定シタイト思ヒマシタガ、併シ今ノヤウニ御研究ニナルヤウナ點モアリマスカラ、今日ハ何條ト云フコトヲ言ハズニ、大體受益者負擔ノ問題ハ、イツモ地域トカ、即チ第二條トカ第四條トカ、第六條、第八條ト云フヤウニ、御意見ノ在ル所ハ大凡限定サレテ居リマスカラ、サウ云フ點ニ付テ豫メ意見ノ御交換ヲセラレテ置イタ方が、最早食事ノ時間デアリマスケレドモ、其前ニヤツテ置キマシタナラバ、此次ニ審議シテ戴キマス際ニ、議論ノ要點ガ略ボ極マルト思ヒマスカラ、ドウカサウ云フコトニ願ヒタイト思ヒマスカ如何デスカ

○古島委員 此問題ハ頗ル重大デアリマシテ、質問ニ致シマシテモ意見ニ致シマシテモ、實際何處カラ手ヲ著ケテ良イカ當惑スル位デアリマス、成程計畫ハ立テ、道路ヲアルコトニ私共ノ先輩ガ極メ

テ居リマスケレドモ、此際ニ於テ是丈ケノ大計畫ヲ立テ、之ヲ實行スルト云フコトニ付イテハ餘程研究ヲシ、又財政計畫ノ上カラモ考究シナケレバナラヌ問題デアリマス、ソレデ本日ハ此程度デ一先ヅ打切リトセラレマシテ、少シ研究サセテ戴キタイト思ヒマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 是ハマダ私カラ市會ノ皆サンニ能ク御話致シテアリマセヌノデ、能ク一度御話ヲ申上ゲマシテ、旁々知事サンノ御意見モアリマスカラ——今迄モ數回研究ハ致シマシタガ尙ホ研究スルコトニ致シマシテ、今日ハ此程度ニ止メラレンコトヲ希望致シマス

○武部計畫課長 此際一寸附加ヘテ置キマス、第六條ノ道路ニ接スル地帯ノ中デハ、受益者負擔金ノ二分ノ一ヲ間口割ニシテ、残りノ二分ノ一ヲ面積割ニスルコトニナツテ居リマスガ、實ハ府ノ執行シテ居ラレマス道路ニ付テハ、三分ノ一ヲ間口割、三分ノ二ヲ面積割ニシテ居ラレマス、此點モ三分ノ一ニシテ貫ヒタイト云フ意見ガ、一二ノ町長カラ出テ居リマス、是モ七倍五倍ノ問題ト同ジク郡市ノ境ニ於テ問題ガ起ルト思ヒマス、ソレデ此事ニ付テハ私共ノ方デモ研究シテ居リマスガ、ドウスレバ良イカト云フ結論ヲ得テ居リマセヌノデ、矢張併セテ是モ御研究ヲ願ツタ方ガ良カラウカト思ヒマス

○渡邊委員長 一千萬圓デドノ程度ノモノガ終了シテ居ルカ御分リニナツテ居リマスカ

○武部計畫課長 調べテ差上ゲルコトニ致シマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 皆サン方ニ申上ゲマスガ、矢張郡部ノ方ノ間口割ヲ三分ノ一ニスルソレカラ尙ホ五倍ヲ七倍ニスルト云フコトニナリマス、市費ヲ投ジテ市民ニハ割合重イ受益者負擔ヲ掛ケ、市費ヲ投ジテ郡部ノ方ニハ割合輕イ負擔ヲ掛ケルト云フコトニナリマスノデ、吾々トシテハ非常ニ困ルノデアリマスカラ、其點ハ皆サン御考慮ヲ願ヒタイトデアリマス

○中川長官 私ハ復興局長官ヲ拜命シマシテ、特別委員ニ指名セラレマシタノデ席末ヲ汚シマス、宜敷ドウゾ御願ヒ致シマス

○潮 委員 私ハ御免ヲ蒙リマシタ

○渡邊委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時三十分 散會

古川改修受益者負擔金額原案、修正比較對照表

實收見込額

區分	原案	委員會修正	差引増減
第一地帯	一一二七〇	五〇六〇	△ 六二一〇
第二地帯	九〇二一	四〇五一	△ 四九七〇
第三地帯	七二一七	三二四〇	△ 三九七七
平均	九一七〇	四一一七	△ 五〇五三
護岸負擔	一一二五〇	三〇八〇	△ 八三〇八
金額	七五九、五五一	四七三、四〇六	△ 二八六、一四五

一坪當金額

七五〇

△印ハ減

區分	原案	委員會修正	差引増減
第一地帯	一一二七〇	五〇六〇	△ 六二一〇
第二地帯	九〇二一	四〇五一	△ 四九七〇
第三地帯	七二一七	三二四〇	△ 三九七七
平均	九一七〇	四一一七	△ 五〇五三
護岸負擔	一一二五〇	三〇八〇	△ 八三〇八

修正事項

議第一二二號議案東京都市計畫事業 古川改修受益者負擔ニ關スル件左ノ通修正ス

記

- 第四條中「百分ノ二十八」ヲ「百分ノ十三」ニ改ム
- 第五條中「百分ノ十二」ヲ「百分ノ十七」ニ改ム
- 第六條第二項中「土地」ヲ「有租地」ニ、「各受益者ト看做ス」ヲ「各受益者トス」ニ、同條第三項中「最後ニ設定シタルモノノ權利者ヲ以テ受益者ト看做ス」ヲ「最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス」ニ改ム
- 第八條 但書中「第二號」ヲ「第三號」ニ改メ、同條第二號ヲ第三號トシ同條第一號ヲ第二號トシ同條ニ左ノ一號ヲ加フ
 - 一 同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複シテ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

議第一二一號議案參考書

東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件(修正對照)

凡例
修正(新)
——(舊)

第一條 東京市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スベキ古川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ三十間ノ地域トス

改修前ノ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃ノ限界ヲ定ムルコトヲ得

第三條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ前條ノ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ各地帶ノ負擔歩合ヲ定ム

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ事業費ノ百分ノ二十八ヲ負擔區劃内ニ在ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ前條ノ負擔歩合及各受益者ノ土地ノ面積ヲ乘ジタルモノトス

第五條 前數條ニ定ムルモノノ外河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側各六間ノ區域内ニ在ル有租地ノ所有者ヲシテ事業費ノ百分ノ十二ヲ當該區域内ニ在ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ各所有者ノ土地ノ面積ヲ乘ジタル金額ヲ負擔セシム

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十分シ毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル土地^{有租地}上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル土地ニ付テハ其

ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者ト看做ス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

二 以上存スルトキハ最後ニ設定シタルモノノ權利者ヲ以テ受益者ト看做ス

前二項ノ規定ハ第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ負擔セシムル場合ニ之ヲ適用セズ

第七條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額(負擔金ノ第一回ノ計算ニ付テハ前年度以前ノ事業費精算合計額)ニ依リ之ヲ算出ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第二號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複シテ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

二 土地ノ狀況ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

三 古川改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ム

ル工法ニ依リ工事ヲ施行シタルトキ

第九條 左ニ掲グル事項ハ市長之ヲ告示ス

一 第三條ノ地帯及負擔歩合

二 第四條及第五條ノ一坪當金額

三 事業著手ノ日

四 第六條第一項ノ期日

第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

古川改修事業及
道路新設擴張事業 受益者負擔ノ件第五回特別委員會議事速記録

昭和四年七月十七日(水曜日)復興局會議室ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

委員

從四位勳四等 渡邊鐵藏君

東京市會議員 古島宮次郎君

東京府知事 中川健藏君

東京府會議員 朝倉虎治郎君

東京市會議員 新甫寬實君

東京市長堀切善次郎君代
理東京市助役 廣瀬久忠君

復興局部長 赤木朝治君

復興局長官 中川望君

幹 事

復興局書記官 武部 六藏君

復興局事務官 片野 道藏君

關係職員

道路課長 牧野 雅樂之亟君

議 事

午前九時三十分 開議

○渡邊委員長 是ヨリ開會致シマス

○武部計畫課長 過日此會デ主トシテ御議論ノアリマシタノハ、市長ノ執行スル道路ニ付テハ負擔區劃ヲ道路ノ幅員ノ五倍トスルト云フ原則ニナツテ居リマスガ、其點ガ郡部ノ方ノ規定ハ七倍ニナツテ居リマスカラ、之ニ付テ何等カノ例外ヲ置イタラドウカト云フコトデアツタノデアリマス、ソレカラ、モウ一ツ、原案デハ道路ニ面スル負擔額ハ二分ノ一ヲ間口割、二分ノ一ヲ面積割トナツテ居

リマスガ、郡部ノ方ハ現在ハ三分ノ一ガ間口割、三分ノ二ガ面積割デアリマスノデ、其點モ七倍五倍ノ改正ニ伴ツテ何等カ改正ノ必要ガアリハシナイカト云フノデアリマシタ、ソレニ付テ東京府、東京市竝ニ私共ノ方デ協議ヲ致シマシタガ、其結果ハマダ充分ニ協議ガ纏ツタト云フ程度ニ立到ラナカツタノデアリマスガ、大體議論ノ經過ヲ申上ゲマシテ御參考ニ供シヤウト思ヒマス
市ノ側ノ意見カラ申上ゲマス、大體原案維持論ニナルノデアリマスガ、即チ市長ノ執行シテ居ル道路ハ市内デアラウガ市外デアラウガ、矢張五倍デ行キタイ、サウシテ市長ノ執行シテ居リマス道路ハ特殊ノ場合、即チ例ヘバ小名木川ノ兩脇ニ在リマス道路デ、家屋ノ連擔シテ居ラナイヤウナ所サウ云フ特殊ノ例外ハアリマスガ、ソレヲ除キマスレバ大體市内ト同ジヤウナ状態ヲ呈シテ居ル繁華ナ所モアリマス、市長ノ執行スル道路ハ市長ノ執行ニ適スルヤウナ道路デアリマスカラ、種々ノ狀況モ大體ニ於テ似テ居ルヤウナ點モアリマスノデ、ズツト五倍デ行キタイト云フノデアリマス、ソレカラ負擔關係カラ申シマスレバ、市内ハ五倍、市外ハ七倍ト云フヤウナコトニナリマス、負擔ヲスル金ノ總額ハ同ジデアリマスガ、隨ツテ收入モ變ラナイノデアリマスガ、限ラレタル個人々々カラ言ヒマス、市内ハ重クナツテ市外ハ輕クナルト云フヤウナコトモアリマシテ、自カラ市ノ方面ヨリ見ルト負擔ノ衡平ガ期セラレナイト云フ點モ、御考慮ノ一ツニナツタノデアリマス、サウ云フ理由カラ致シマシテ原則トシテハ矢張五倍デ行キタイ、尤モ小名木川ノヤウナ場合ハ豫算モ決

マツテ居リマセヌシ、將來五年先カ七年先カ未確定デアリマスカラ、其時ニ何等カ適當ノ方策ヲ講ズルコト、シテ、其點ニ觸レナイデ原案ノ儘デ行ツタラドウカト云フノデアリマシタ
ソレカラ府ノ側ノ意見ハ地域主義デアリマシテ、郡部ハ全部七倍デ行ツタラドウカ、郡部ハ大體事情モ似テ居ル、又住民ノ負擔ノ衡平カラ言ツテモ片一方ガ五倍、片一方ガ七倍ト云フコトハドウモ面白クナイト云フノデ、府ノ方ハ大體地域主義ガ多カッタノデアリマス

此點ニ付テ實際道路ノ負擔ヲ申シマス、市長ノ執行シテ居ラレル道路デ郡部ニ出テ居リマスノハ八線計リアルノデアリマス、尤モ其中デ目ニ立チマスノハ小名木川ノヤウナ家屋ノ連櫓シテ居ラナイ土地モアリマスガ、ソレ以外ハ主トシテ市郡ノ境ガ餘リハツキリシナイヤウナ場所ハ實ハ多イノデアリマス、所ガ一面ニ知事ノ執行シテ居ラレマス道路ハ、市内ノ中ニハ這入ツテ居ラナイノデアリマスケレドモ、市郡ノ境ノキワヲ通ルヤウナ場合ハ數箇所アルノデアリマス、サウ云フ場合ニ道路ハ中ニ這入ツテ居リマセヌガ、負擔區域ヲ七倍ニスルト市内ノ中ニ這入ツテ來ルヤウナ場合ガアルノデアリマス、隨ツテ兩方ノ規定ノ間ニ自カラ矛盾ガ出テ來ルヤウニ思ヒマス、サウ云フヤウナ事情モ矛盾モ考慮シタ結果、市ノ側ト府ノ側ノ御意見ガ出タノデアラウト思ヒマスガ、此點ニ付テ甘イ一致點ガ發見出來レバ良カツタノデスガ、ソコ迄マダ充分ニ到達シナカツタノデアリマス
ソレデ私共ノ考ヲドウシテモ此際申上ゲテ置カナケレバナラヌト思ヒマスガ、色々兩方ノ御意見ニ

ハ又各相當ノ御理由ガアリマス、同時ニ兩方ニ少シヅ、矛盾ガアルヤウニモ思ヒマス、私共ノ考ハ謂ハハ妥協案デアリマスガ、實際ノ事情ニ應ズルヤウニ相當裁量ノ餘地ヲ存シテ置イテハドウカ、市内ハ五倍デ行クヨリ仕方ガナイト思ヒマスガ、郡部ノ道路ニ付テハ土地ノ事情ニ依ツテ七倍マデ擴ゲテモ良イ——内務大臣ガ擴ゲテモ良イト言フ權限ヲ持ツヤウニシタラドウカト思ヒマス、尤モ此問題ニ付キマシテハ實際ニ實行ノ場合ニ當リマシテ、相當研究シナケレバナラヌコトガ澤山出テ來ルト思ヒマスガ、實行ニ當ツテハ私共ナリ又市ナリ府ナリデ協議シテ、此路線ハ五倍、此路線ハ七倍トスルト云フコトヲ協議ノ上デ決メタラドウカト思ヒマス、土地ノ狀況ニ依ツテ繁華ナ所、繁華デナイ所、或ハ市郡ノ境ノ周圍ノ道路ナドヲ考慮致シマシテ、或ハ五倍トシ或ハ七倍ニスルト云フコトニシタナラバ、最モ圓滑ニ行クノデナカラウカト私共ノ方デハ考ヘテ居ルノデアリマス、市ノ側モ府ノ側モ、又私共ノ方モ各ノ意見ヲ最後迄主張シテ互ニ相讓ラヌト云フ程ノ強イモノデアリマセヌガ、大體サウ云フ意見ヲお互ニ持ツテ居ルノデアリマス、御參考迄ニ申上ゲマスカラ、適當ニ御キメラ願ヒマス、間口負擔モ、私共ノ案ハ、郡部ノ或ル路線ニ付テ七倍ニシタト云フヤウナ所ハ、矢張三分ノ一ニシタラドウカト考ヘテ居リマス

○渡邊委員長 七倍ニスレバ三分ノ一トスルノデアリマスカ

○武部計畫課長 左様デス

○渡邊委員長 モウ少シ、ハツキリスルヤウニ第二條ノ第二項アタリニ何カ規定ヲ入レマスカ

○武部計畫課長 サウ致シマセウ

○朝倉委員 一寸御尋致シマス、只今御説明ノ如ク中々市郡ノ境界ノ所ハ、出タリ引ツ込ンダリツテ面倒ナ場所ガアルト思ヒマスガ、サウ云フ小サイ部分ノ所ハ整理上何レニ決マツテモ私ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、ソレ等ニ對シテハ兎ヤ角主張致シマセヌガ、唯茲デ私共強ク主張シテ御考慮ヲ煩シテ置キタイコトハ、例ヘバ千駄ヶ谷ノ外苑ト内苑ノ聯絡道路ガアリマス、又巢鴨トカ日暮里トカ、サウ云フ所ハ殆ド其附近ヲ一部ハ環狀線ガ通り、若クハ放射線ガ通ツテ居リマス、サウシテ東京市長ガ實行サレル道路モ殆ド是ガ郡部ノ地續キ内ニ其一線ヲ成シテ居ル、ソコデ斯様ニ一線ヲ成シテ居ルヤウナ場合、或ハ交叉シテ十文字ヲ成シテ居ルヤウナ場合ニ、東京府ノ執行サレル方ハ七倍デ間口割ガ三分ノ一、ソレカラ市長ノ執行サレル分ハ五倍トナツテ二分ノ一ト云フ間口割ニナルト云フコトハ、極メテ矛盾ノ大キイモノデアルト思ヒマス、ソレデ私共ハ斯ウ云フ郡部所在地デアツテ相當ノ大キイ場所ニ對シテハ、矢張是ハ收入ニ差支ガナイノデアリマスカラ、郡部ハ七倍、サウシテ確カ七年トナツテ居リマスカラ七年デ、間口割ハ三分ノ一、斯ウ云フコトガ行ハレルヤウナコトニナルコトヲ希望致シマシテ、其外ノ細カイコトハ是ハサウ、キチントシタ譯ニモ參リ兼ネル場合モアリマセウシ、又事情モ小サイノデアリマスカラ已ムヲ得ナイト思ヒマス、大キイノハ三箇所若

クハ五箇所ト思ヒマスカラ、斯ウ云フモノニ對シテハ郡部所在ノ外ニハ知事ガ執行スル仕事ハ東京市内ニハナイノデアリマスカラ、郡部ニ在ル市長ガ執行サレル分ニ對シテハ、サウ云フ點ヲ明カニシテ置イテ、外ノ細カイ點ハ私ハ已ムヲ得ナイコト、思ヒマスカラ、ドウカ只今ノ折衷案ノ説明ハ、斯ウ云フ一線ヲ成シタモノニ對シテハ、サウ云フ方法ヲ御執リ下サルト云フコトノ説明ニナルト云フコトニ私共了解致シテ宜シイナラバ、敢テ議論ハナイノデアリマスガ、サウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデアリマセウカ

○武部計畫課長 ドノ線ニ付テハドウト云フコトヲ茲ニ申上兼ネルノデアリマス、今御説ノアリマシタ郡部ニ長ク出テ居ル、サウシテ系統的ノ道路ヲ成シテ居ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、私共デ考ヘテ居リマス折衷案ノ適用ノ餘地ガアルト思ヒマス、今御示シニナリマシタ具體的ノ道路ニ付テハ御返事ハ申上兼ネルノデアリマス

○朝倉委員 ソレヲ具體的ニシテ戴クコトガ、私ハ修正スル場合ニ於テ非常ニ意義ノアルコトデハアルマイカト思ヒマスカラ、御考慮下サルヤウニ願ヒマス

○渡邊委員長 先程幹事カラ御説明ニナリマシタ折衷案ヲ、今一應申上ゲルコトニ致シマス

○武部計畫課長 第二條第二項中「前項」トアリマスノヲ「第一項」ニ改メマシテ、同項ヲ第三項トシ、同條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘマス、「東京市ノ區域外ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト

認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ七倍迄擴張スルコトヲ得、ソレカラ第四條第一項但書中ノ「第二條第二項」トアリマスノヲ「第二條第三項」ニ改メマス、次ニ第六條ノ末尾ニ左ノ一項ヲ加ヘマス、「東京市ノ區域外ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前項ノ間口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄低下シ其ノ殘額ヲ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ムルコトヲ得、ソレカラ第十條中ノ「第二條第二項」ト云フ下ニ「及第三項」ヲ入レマス、次ニ「第五條ノ地帶及率、」ノ下ニ「第六條第二項ノ規定ニ依ル間口負擔ノ割合、」ヲ加ヘマス——ソレ丈ケデゴザイマス

○中川健藏委員 私ハ只今カラ一寸退場サセテ戴キマスカラ、此案ニ付テ一言述べサセテ戴キマス、第二條ノ改正ハ私ハ已ムヲ得ナイナラバ是デ良カラウト大體思ヒマス、サウシテソレト關聯シテ第六條ノ規定ヲ斯ウ云フヤウニ改正シテ貫ヒタイト思ヒマス、詰リ七倍ニシタ土地ニ付テハ當然三分ノ一ニナルノダ——七倍ニナツタ所ハ間口負擔ハ當然三分ノ一ニナツテシマウノダト云フ風ニ變ヘタラドウカト思ヒマス、其他ハ土木部長ガ居リマスカラ、ソレニ聽イテ戴キマス、私ハ陛下ノ行幸ヲ奉送ニ參リマスノデ、是デ失禮致シマス

○渡邊委員長 サウスルト第六條ハ、修正案ニ依ル第二條第二項ノ場合ニ於テハ、間口負擔ヲ三分ノ一トスルト云フ意味ニスレバ、ハツキリスルカラト云フ御趣意デスカ

○中川健藏委員 左様デス

○武部計畫課長 條文ノ聯絡ヲ明瞭ニサレル意味デスナ

○中川健藏委員 左様デス

○武部計畫課長 知事サンノ御意見ノヤウニスレバ二項ノ方デ「道路ノ幅員ノ七倍トスルコトヲ得」ト書イテ、コツチノ方ハ「其ノ場合ニハ三分ノ一トス」ト云フヤウニ書ケバ宜シイノデス

○渡邊委員長 知事サンハ條文整理ノ意味デ言ハレタラ、ソコマデ御考ハナカツタカト思ヒマス、現場ニ就テ審査シナイト喇叭型ニスルノガ良イカドウカ分リマセヌ、此ノ修正案ノ意味ニスルト、假令七倍ニシテモ三分ノ一ニナツタリ、四分ノ一ニナツタリ、四分ノ一ニナツタリシ得ル譯デス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 七倍ト認定スル時ハ、郡部的性質ノモノダト云フ認定ノ下ニスルノデスカラ、同時ニ三分ノ一ト云フコトガ認定ノ中ニ這入ツテ來ルト見ナケレバナラヌト思ヒマス

○渡邊委員長 「七倍迄」トシテ「迄」ノ字ヲ存置シテ、六倍ト云フコトモ實際ニ認メ得ルヤウニ殘シマスカ、或ハサウデナシニ、ハツキリ「七倍」トシマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 ハツキリ七倍トシナイデ、矢張「迄」ト云フコトニシタ方ガ良クハアリマセヌカ

○武部計畫課長 六倍位迄デ良ササウニ思ハレルノデスガ——何處ニサウ云フノガ在ルカト云フコトハ一寸分リマセヌガ……

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 喇叭型ハ理想デスナ

○武部計畫課長 第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ、間口割ヲ三分ノ一迄低下スルコトガ出來ルト云フコトニシテハ如何デスカ

○渡邊委員長 ソレデ宜シウゴザイマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 私共トシテハ内務大臣ノ公平ナル判斷ヲ仰グ譯デアリマスカラ、別ニ異議ハゴザイマセヌ

○朝倉委員 私共ハ一線ヲ成シタ所ハ先刻申シタヤウニ實現スルコトガ出來マスレバ、外ノ事ハ別ニ彼是レ申シマセヌ

○渡邊委員長 ソレデハ今ノ修正案——「第六條ノ末尾ニ左ノ一項ヲ加フル」ト云フ所ノ最初ノ一行、即チ「東京市ノ區域外ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ」トアルノヲ削リマシテ「第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ」ト云フ文句ニ直ホシマシテ、此修正案ヲ可決シテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○渡邊委員長 ソレデハ、サウ云フコトニ決定致シマス、但シ是ハ急ニ出來タ案デアリマスカラ、文字等ニ就テ整理ヲ要スル場合ハ、ドウカ御一任ヲ願ヒマス

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○渡邊委員長 ソレデハ尙ホ他ニ御意見ガアリマスレバ伺ヒマス

○赤木委員 一二修正ノ意見ヲ提出致シマス、ソレハ第七條デアリマス、同條第二項ニ

「事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル土地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作權者及賃借權者ヲ以テ各受益者ト看做ス」

ト云フ規定ガアリマスノヲ、之ヲ次ノヤウニ修正シタイノデアリマス

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

ソレカラ今一ツハ第四條ノ受益者負擔ヲ算定スル基礎ニ付テ前田委員カラ御説ノアリマシタヤウニ或ル特殊ノ工事、例ヘバ隧道橋梁等ノ工事デ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノニ付キマシテハ、ソレヲ其附近ノ者ノミニ負擔サセルコトハ穩當デナイト思ヒマスノデ、サウ云フ場合ニハ支出費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔ノ基礎トシナイト云フヤウニ修正シタラ良カラウト思ヒマスノデ、ソレデ第四條ノ末尾ニ次ノヤウナ一項ヲ加ヘタイノデアリマス

隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又
ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項ノ事業費トスルコトヲ得
此一項ヲ加ヘタイノデアリマス

○渡邊委員長 第四條ノ末尾ニ只今ノ御説明ニナリマシタヤウナ一項ヲ加ヘルト云フ修正ニ付テ、何
カ御發議ガアリマスカ

○島古委員 今ノ隧道橋梁ノ如キモノトカ、ソレカラ大道路トカ云フヤウナモノハ、一般ノ人ガソレ
ヲ通行スル橋トカ隧道ト云フヤウナモノヲ謂フノデスカ

○赤木委員 「特殊」ト申シマスノハ特ニ多額ノ費用ヲ要スルト云フ意味デアリマシテ、例ヘバ或ル橋
ガアリマシテ、其橋ハ普通ノ橋ヨリハ特ニ費用ガ掛ツテ居ルト云フヤウナ場合ヲ謂フノデアリマス
○古島委員 サウ致シマスト環狀線トカ放射線トカ云フヤウナ、一般交通ノ道路ニスルモノダト考ヘ
テ居レバ宜シイノデスカ

○赤木委員 環狀線、放射線ノヤウナ一般交通ノ用ニ供スル道路デアリマシテモ、其道路ニ或ル橋梁
ガ架セラレル、其橋梁ハ特ニ多額ノ費用ヲ要シタトスルナラバ、其橋梁ノ費用ハ其橋梁ノ附近ノ者
ノミガ負擔スルヤウニナラナイヤウニシタイト云フノデアリマス

○渡邊委員長 只今ノ修正ニ御異議アリマセスカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○渡邊委員長 ソレデハ其通り決シマス

○朝倉委員 修正案ヲ提出致シマス

第二條第二項中「前項」ヲ「第一項」ニ改メ、同項ヲ第三項トシ同條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
東京市ノ區域外ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ
幅員ノ七倍迄擴張スルコトヲ得

第四條第一項但書中「第二條第二項」ヲ「第二條第三項」ニ改ム

第六條ノ末尾ニ左ノ一項ヲ加フ

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ間口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄

低下シ其ノ殘額ヲ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ムルコトヲ得

第十條中「第二條第二項」ノ下ニ「及第三項」ヲ、「第五條ノ地帶及率」ノ下ニ「第六條第二項ノ規
定ニ依ル間口負擔額ノ割合」ヲ加フ

斯ウ云フ風ニ修正致シタイノデアリマス

○渡邊委員長 只今朝倉委員カラ修正案ノ御提出ガアリマシタ、先程懇談的ニ御話ガアリマシタ趣旨
ニ依ツテ、只今ノ御修正案ガ出來タ譯デアリマス——ソレデハ左様ニ決定シテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

七六八

○渡邊委員長 ソレデハ朝倉委員ノ御提出ノ修正案通り決定致シマス——朝倉サンニ伺ヒマスガ、字句ニ付テ多少ノ訂正ヲ必要トスル場合ハ、修正案ノ趣旨ニ變リノナイ限りハ御任セラ願ヒマス

○朝倉委員 宜シウゴザイマス

○渡邊委員長 其他ニ就テ御發議ハアリマセヌカ——別ニゴサイマセヌケレバ、ソレデハ本案ハ全部是ニテ決定致シタモノトシテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○渡邊委員長 ソレデハ是デ決定致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス、此委員會ハ是デ終了致シマシタ、ドウモ有難ウゴサイマシタ

午後零時 散會

第二十四回總會

特別都市計畫委員會第二十四回總會議事速記録

昭和四年七月二十九日(月曜日)内務省會議室ニ於テ開會

議事日程

- 第一、議第一〇八號 大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件(幹線街路第九號及同第二十一號路線關係)
- 議第一〇九號 東京都市計畫街路及廣場ノ新設、改修並其ノ事業執行年割決定ノ件(中央官衙建築地域内街路及廣場關係)
- (以上二件特別委員長報告)
- 第二、議第一二二號 東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件(特別委員長報告)
- 第三、議第一二三號 東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件(特別委員長報告)

出席者氏名

會長

委員

內務大臣

安達謙藏君

一番 從三位勳三等男爵

斯波忠三郎君

二番 正五位勳四等

渡邊鐵藏君

三番 警視總監丸山鶴吉君
代理警視廳書記官

古川靜夫君

六番 東京市會議員

古島宮次郎君

九番 內務省土木局長

三邊長治君

一〇番 法制局長官

川崎卓吉君

一一番 內務次官

潮惠之助君

一二番 商工次官

三井米松君

一三番 東京府知事

中川健藏君

一五番 東京府會議員

朝倉虎治郎君

一六番 東京市會議員

福田勇君

二〇番 神奈川縣知事山縣治郎君代理地方技師

三輪周藏君

二一番 貴族院議員

藤田四郎君

二三番 衆議院議員

中島守利君

二四番 陸軍次官

阿部信行君

二五番 內務技監

中川吉造君

二八番 橫濱市土木局長

伊藤藤清君

三〇番 東京市會議員

國枝捨次郎君

三一番 橫濱市長

有吉忠一君

三二番 貴族院議員

橋本圭三郎君

三三番 正六位勳六等

井坂孝君

三四番 文部次官

栗屋謙君

三五番 從三位勳二等

丹羽鋤彦君

三七番 東京市會議員

新甫寬實君

四二番	正三位勳三等子爵	大河内正敏君
四三番	東京市長	堀切善次郎君
四四番	海軍次官	山梨勝之進君
四六番	東京府會議員	大神田軍治君
四七番	從四位勳二等	今村明恒君
四八番	逓信省工務局長	稻田三之助君
五一番	從五位	大橋新太郎君
五三番	大藏次官	河田烈君
五六番	東京市會議員	川村正夫君
五九番	司法次官	小原直君
六〇番	東京府會議員	伊藤武七郎君
六五番	正三位勳一等功二級	長岡外史君
六七番	衆議院議員	太田信治郎君
六八番	營繕管財局理事	太田嘉太郎君
七〇番	正四位勳三等	牧彦七君

幹事

七二番	東京府會議員	佐藤久太郎君
七三番	東京府會議員	立石知滿君
七四番	東京府會議員	内田秀五郎君
七五番	東京市局長	近新三郎君
七七番		青木菊雄君
八二番	正五位勳四等	前田多門君
八三番	復興局長	赤木朝治君
八四番	復興局長官	中川望君

職員

復興局書記官	武部六藏君
正六位勳六等	西村輝一君
復興局事務官	片野道藏君
建築部長	笠原敏郎君

報 第 九 號

會 長 委 員 異 動 報 告

昭 和 四 年 六 月 十 五 日

商 工 次 官 三 井 米 松 君 委 員 被 仰 付

同 六 月 二 十 五 日

委 員 警 視 總 監 宮 田 光 雄 君 退 官 ニ 付 委 員 消 滅、長 岡 隆 一 郎 君 警 視 總 監 ニ 任 セ
ラ レ 委 員 ト ナ ル

同 七 月 二 日

會 長 內 務 大 臣 望 月 圭 介 君 退 官 ニ 付 會 長 消 滅
委 員 內 閣 書 記 官 長 鳩 山 一 郎 君 退 官 ニ 付 委 員 消 滅

同 七 月 三 日

安 達 謙 藏 君 內 務 大 臣 ニ 任 セ ラ レ 會 長 ト ナ ル
委 員 法 制 局 長 官 前 田 米 藏 君、警 視 總 監 長 岡 隆 一 郎 君 ハ 退 官 ニ 付 執 モ 委 員 消
滅、丸 山 鶴 吉 君 警 視 總 監 ニ 任 セ ラ レ 委 員 ト ナ ル

同 七 月 四 日

委 員 大 藏 次 官 黑 田 英 雄 君、鐵 道 次 官 八 田 嘉 明 君 退 官 ニ 付 執 モ 委 員 消 滅

同 七 月 五 日

委 員 農 林 次 官 阿 部 壽 準 君、東 京 府 知 事 平 塚 廣 義 君、神 奈 川 縣 知 事 池 田 宏 君

臨 時 委 員 宮 崎 通 之 助 君 ハ 退 官、臨 時 委 員 內 務 省 地 方 局 長 佐 上 信 一 君、內 務
書 記 官 平 田 紀 一 君 ハ 轉 任 ニ 付 執 モ 委 員 又 ハ 臨 時 委 員 消 滅

中 川 健 藏 君 東 京 府 知 事 ニ、山 縣 治 郎 君 神 奈 川 縣 知 事 ニ 任 セ ラ レ 委 員 ト ナ ル
委 員 遞 信 次 官 桑 山 鐵 男 君 退 官 ニ 付 委 員 消 滅

復 興 局 長 官 中 川 望 君 委 員 被 仰 付
臨 時 委 員 藤 宮 惟 一 君 臨 時 委 員 被 免

橫 濱 市 土 木 局 長 伊 藤 清 君 臨 時 委 員 被 仰 付
內 閣 書 記 官 長 鈴 木 富 士 彌 君、法 制 局 長 官 川 崎 卓 吉 君、大 藏 次 官 河 田 烈 君、

農 林 次 官 松 村 眞 一 郎 君、遞 信 次 官 今 井 田 清 德 君、鐵 道 次 官 青 木 周 三 君 委 員
被 仰 付

內 務 政 務 次 官 齋 藤 隆 夫 君、內 務 參 與 官 內 ヶ 崎 作 三 郎 君、內 務 省 地 方 局 長 次
田 大 三 郎 君、內 務 省 土 木 局 長 三 邊 長 治 君 臨 時 委 員 被 仰 付

常 務 委 員 會 委 員 異 動

昭 和 四 年 七 月 二 十 日

復 興 局 長 官 中 川 望 君、警 視 總 官 丸 山 鶴 吉 君、東 京 府 知 事 中 川 健 藏 君、神 奈

川縣知事山縣治郎君常務委員ニ指名
 昭和四年六月二十五日 警視總官宮田光雄君委員消滅ニ付常務委員消滅
 同 六月二十九日 警視總監長岡隆一郎君常務委員指名
 同 七月三日 警視總監長岡隆一郎君委員消滅ニ付常務委員消滅
 同 七月五日 東京府知事平塚廣義君、神奈川縣知事池田宏君委員消滅ニ付常務委員消滅

議 事

午前十時 開議

○議長(會長安達謙藏君) 開會ニ際シテ先ヅ私ハ一言御挨拶ヲ申上ゲマス

此炎暑ノ際殊ニ御多忙ノ折柄茲ニ御參同ヲ願ヒマシタ處、各位御揃ヒ下サイマシテ御參集ニナリマシタコトヲ、厚ク御禮ヲ申上ゲマス

私ハ先般内務大臣ヲ拜命致シマシテ、内務行政ノ重責ヲ擔フコトニナリマシタ、又官制ニ依リマシテ本會ノ會長ヲ勤メルコトニナリマシタ、ドウゾ萬事宜敷將來ノ事ニ就テ御願ヒ致シタイト存ジマス

帝都復興ノ事業ニ付キマシテハ各位ニ先年來御審議ヲ煩シマシテ、サウシテ御決定ヲ戴キマシタ計
 畫ニ依リマシテ、著々事業ガ進捗致シマシタ、今ヤ殆ド完成ノ域ニ達シテ居リマス、ソレデ豫定ノ
 年度内ニ略ボ完了スル見込ガ確實デアルト云フコトヲ申上ゲ得ルヤウニナリマシタノハ、洵ニ私ニ
 取リマシテ欣快ニ存ズル次第ゴザイマス、就中横濱市ノ復興事業ハ、前年度内ニ於キマシテ既ニ
 完成ヲ致シマシテ、去ル四月二十三日畏クモ 聖上陛下ニ於カセラレマシテハ親シク横濱市ニ行幸
 遊バサレマシテ、同市ノ復興事業ヲ具サニ戀ハセラレマシタコトハ、國民トシテ洵ニ感激ニ堪ヘザ
 ル所デゴザイマス、東京ニ於ケル復興事業モ、本年度内ニスツカリ完成ノ豫定デアリマス、今ヤ其
 ノ最後ノ仕上ゲヲ立派ニ爲シ遂ゲマス爲ニ、局員一同協力一致シテ働イテ居リマス、此復興事業ノ
 今日迄ニ進捗致シマシタコトニ付キマシテハ、全ク各位御協力ノ結果ニ外ナラヌノデゴザイマス、
 私ハ茲ニ謹デ感謝ノ意ヲ表スル次第ゴザイマス

復興事業ハ嘗ニ東京横濱ノ復興事業ニ止マルノデナクシテ、是ハ所謂帝國ノ經濟復興ト文化ノ進展
 ノ基礎土臺ヲ成スモノト申シテ宜シイデアリマス、ソレデ一日モ速ニ是ガ完成ヲ期セナケレバナ
 ラヌト云フコトハ、更ニ改メテ茲ニ申上ゲル迄モナイコトデアリマス、隨ヒマシテ政府ハ今日財政
 緊縮ノ場合デゴザイマスケレドモガ、此復興事業ノ經費ニ付キマシテハ、何等手ヲ著ケナイ積リデ
 ゴザイマス、何卒此上一層ノ御努力御同情アランコトヲ切ニ希望致ス次第デアリマス、一言御挨拶

申上ゲマス

○復興局長官(中川望君) 此場合甚ダ恐縮デゴザイマスガ、御挨拶ヲ申上ゲル機會ヲ與ヘテ戴キタイト存ジマス

私ハ先般圖ラズモ復興局長官ノ職ヲ奉ズルコトニ相成リマシタ、今後宜敷御鞭撻ヲ願ヒタク存ジマス

復興ノ事業モ只今會長カラ御話ノゴザイマシタ如ク、皆様ノ御配慮ト累代ノ長官ノ多大ノ盡力ニ依リマシテ既ニ難關ハ通過致シ、唯仕上ゲノ仕事ガ残ツテ居ル計リデゴザイマス、剩ス所僅カ八ヶ月而モ其ノ間ニ約五千萬圓ノ仕事ヲ完了シナケレバナライコトニナツテ居ルノデアリマス、局員一同ト共ニ銳意御期待ニ副ヒ度ク努メテ居ルノデアリマス、唯事柄ノ性質上、事業ノ進捗ニ伴ヒマシテ人員ヲ整理スルコトガ當然ノ結果トシテ附イテ參ルノデゴザイマス、仕事ヲ進メツ、人ヲ整理シテ行クト云フコトガ、極メテ困難ナル事ト存ジテ居ルノデアリマス、況シテ整理緊縮ノ時ニ遭遇致シマシテ、只今残ツテ懸命ニ働イテ居ル有爲ノ人々ノ前途ニ付キマシテハ、將來ニ確實ナル光明ヲ與ヘテ働イテ貰フト云フコトガ中々困難ニナツテ居ルノデアリマス、此點ハ私ニ於キマシテモ最モ苦慮シテ居ル所デゴザイマス、御關係ノ深キ各位ニ於カレマシテモ、此點ニ御同情下サイマシテ、是迄ヨリモ一層復興局員ノ前途ニ付キマシテ格別ノ御配慮ニ與カリマシテ、安ンジテ今後ノ事業ヲ

竣成セシムルヤウニ、御獎勵ヲ願ヒ度ク存ズルノデアリマス、色々御氣付ノ點モアリマスレバ充分ニ御指導ヲ願ヒマシテ、此大事業ノ完成ヲ滞リナク仕上ゲタイ積リデゴザイマス、宜敷御指導御援助ヲ御願ヒスル次等デゴザイマス

○議長(會長安達謙藏君) ソレデハ是ヨリ日程ニ入りマス、日程第一、橋本特別委員長報告

第一 議第一〇八號 大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中

變更ノ件(幹線街路第九號及同第二十一號路線關係)

議第一〇九號 東京都市計畫街路及廣場ノ新設、改修並其ノ事業執行年割決定ノ件(中央官街建築地域内街路及廣場關係)

(以上二件特別委員長報告)

〔幹事 朗讀〕

報 告

本特別委員會ハ昭和四年三月八日付託セラレタル議第一〇八號議案大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件及議第一〇九號議案東京都市計畫街路及廣場ノ新設改修並其ノ事業執行年割決定ノ件ニ付同年六月十二日、同月二十四日及七月二十四日ノ三回會議

ヲ開キ尙六月十四日實地ノ調査ヲ爲シ慎重審議ノ結果議第一〇八號議案ハ全部原案ヲ適當ト認メ議第一〇九號議案ハ同案街路ノ部第四號路線(麴町區永田町一丁目參謀本部下ヨリ三宅坂ニ至ル)ハ原案ノ計畫ニ依レハ南側陸軍省用地法敷ノ殆ント全部潰地トナリ爲ニ現在ノ風致ヲ維持スルコト至難ト認メラル、ヲ以テ多少原案ノ幅員ヲ減スルモ附近ノ風致ヲ損セサル様計畫ヲ改ムルヲ適當ト認メ相當調査ノ上大體成案ヲ得タルモ尙調査ヲ要スル廉アリ然ルニ本案ハ事業執行上速ニ決定ノ必要アルヲ以テ右第四號路線ハ一先本案ヨリ之ヲ削除シテ更ニ他日ノ提案ヲ俟ツコト、シ即チ左ノ通修正シ他ハ全部原案ヲ適當ト認メ候條此段及報告候也

昭和四年七月二十四日

特別委員長 橋本圭三郎

特別都市計畫委員會會長 安達謙藏殿

修正事項

議第一〇九號議案第一街路中第四號路線ヲ削ル

〇三十二番(橋本圭三郎君) 議第八八號及百九號議案ノ特別委員會ノ報告ハ只今朝讀ニナツタ通りデアリマスガ、此ノ際少シク附加ヘテ置キタイト思フノデアリマス、第八八號議案ノ方ハ洵ニ簡單ナルデアリマシテ、初メ九號線ヲ計畫シマス時ニハ、新議事堂ノ前ニ廣場ヲ設ケルト云フ計畫ハ未ダ出來テ居ラスコトデアリマスノデ、此ノ度廣場ヲ設ケルコトニナリマスルト、此ノ線路ガ一部分不用ニナルノデアリマスカラ、ソレヲ削ルト云フコトガ一ツデアリマス、モウ一ツハ半藏門ノ方カラシテ隼町、衛戍病院、獨逸大使館ノ脇ヲ通りマシテ今ノ廣場ノ方へ出ル道路ニ結付ク道路ハ、初メノ案ハ眞ツ直ニ附ケルコトニナツテ居ツタガ、是ガ爲ニハ獨逸大使館其ノ他ノ敷地等ニモ隨分變更ヲ來スヤウナコトガアリマシテ、却テ眞ツ直ニシナクテモ、今在ル道路ヲ利用シテ、少シ曲ツテモ今ノ道路ヲ利用シテ拵ヘタ方ガ非常ニ便利デアリ、又幾ラカ經費モ減ズルト云フノデアリマシテ、此ノ二十一號路線ト云フモノヲ變更シタノデアリマス、此ノ點ニ付テハ誰モ反對ハナカツタノデアリマス、次ニ第九號議案ニ付テハ、御承知ノヤウニ、澤山線ガアリマシテ、一號カラ十號マデアルノデアリマスガ、是ハ議院ヲ中心トシテ、其ノ周圍ニ種々ナル官衙ガ出來ルノデアリマス、ソレデ其ノ官衙ノ建築ノ計畫ト相關聯シテ、其處ニ廣イ道路、中位ノ道路、狭イ道路ト、色々ノ道路ヲ拵ヘル計畫デアリマス、此ノ事ニ付テモ一々特別委員會ニ於テハ審議ヲ致シマシタガ、他ノ點ニ付テハ各委員ニ於テ別段異存ハナカツタノデアリマスガ、唯一ツ四號路線、即チ三宅坂カラシテ參謀本部ノ陸地測量部ヲ經テ、皆様が能ク御通りノ櫻田門ノ方ニ來ル、アノ樹ノアル場所ノ線路デアリマス此ノ線路ヲ廣クシマシテ、陸軍省ノ方ノ土堤ヲ此ノ線路ノ中ニ取入レテ、ソコヘ電車道路、自動車道

路及ビ歩道ヲ造ル計畫デアリマスガ、サウシマスルト、東京ノ名物ノアノ樹林帯ヲ壊シテシマハナケレバナラヌト云フコトニナルノデ、委員ノ一人ナル佐野博士カラ、是ハ残念デアルカラ、何か一ツ考ヘタラドウカト云フ御意見ガ出マシテ、各委員モ、洵ニ其ノ通りデアルト云フノデ、實地ノ検査ヲ致シマシタ所、色々ノ案ガ出マシタ、ソレハ、自動車道ヲ陸軍省ノ用地ノ中ニ別ニ持ツテ行ツタ方ガ宜クハナイカト云フ論モアリ、電車道ヲ持ツテ行ツタ方ガ宜イ、又歩道及ビ自動車道ノ片道ダケヲアノ陸軍省ノ用地ノ中ニ持ツテ行ツタ宜カラウ、サウスレバアノ樹林帯ニ手ヲ着ケナクテモ濟ムデアラウト云フヤウナ説モアリマシテ、段々評議ヲ致シマシテ、一ツノ成案ヲ得タノデアリマスガ、其ノ案ニ依リマスルト、真中ニ電車道ヲ取りマシテ、其ノ兩側ニ自動車ノ道ヲ拵ヘマシテ、濠端ノ方ダケニ人道ヲ拵ヘルコトニナルノデアリマス、ソレダケノ十九米幾ラト云フ道路ヲ拵ヘルコトニシマスルト、今ノ土堤ヲ幾ラカ盛土ヲシマシテ人道ヲ拵ヘナケレバナラヌノデアリマス、所ガアノ土堤ハ、世傳御料ノ土地デアリマシテ、宮内省ノ同意ヲ得ナケレバナラヌノデアリマス、其ノ事ニ付テハ宮内省ノ方デモ色々ノ機關ヲ經ナケレバナラヌノデアリマスノデ、直チニ本案ニ同意ヲ表セラル、コトガ出來ナイノデアリマス、ソレデソレヲ待ツテ居リマスルト、今年議會ヲ通過シマシタ第三號路線、是ハ既ニ三十萬圓ノ經費ヲ議會デ可決シテ居リマス、ソレヲ早く拵ヘナケレバナラヌ、即チ新議院ノ裏、總理大臣官舎ノ前ノ道デアリマス、是ハ一日モ早く着手シナクテハナラヌ

ノデアリマスカラ、今ノ四號路線ニ付テ宮内省ノ方トノ交渉ノ纏マルノヲ待ツト甚ダ遅クナルノデアリマス、ソレデ吾々委員ハ、ソレナラ此ノ四號路線ダケハ此ノ度ハ止メテ、他ノ急グモノダケヲ早く決定シタラ宜カラウト云フコトデ、四號路線ダケハ後廻シニシャウト云フコトニ決シタノデアリマス、ソレデ一號カラ十號マデノ路線ノ中、今ノ四號路線ヲ除キマスルト、金額ハ四百五十萬圓程ニナルノデアリマシテ、是ハ中央官衙ノ出來ルニ順應シテボツ／＼ト道ヲ拵ヘテ行カウト云フノデアリマスカラシテ、一度ニ其ノ金ガ要ルノデアリマセヌガ、先ヅ當局ノ御考ヲ聽イテ見マスルト、今後十年間位ニアノ十程ノ路線ヲ拵ヘタイト云フコトデアリマス、ソレカラ委員會ニ於テ問題ノ出マシタノハ、今度出來ル吾々ガ今決定シヤウトスル其ノ路線ノ費用ノ負擔ハ、國ト市トドウ云フ分配ヲスルノデアルカト云フ議論ガ出マシタガ、其ノ事ニ付テハ、當局者ノ市ノ方ト大藏省ノ方トノ間ニ色々御話モアリマシタガ、ソレハ今後ボツ／＼ヤルコトデアツテ、今全體ニ幾ラ市ガ負擔スル、幾ラ國庫ガ負擔スルト云フコトヲ定メテ置ク必要モナカラウシ、又今ソレヲ定メルコトモ困難デアラウト思ヒマスカラ、其ノ場合々々ニ當ツテドウ云フ割合ヲ負擔スルト云フコトヲ定メタラ宜カラウ、斯ウ云フ話デ其ノ場ハ落着シタノデアリマス、一々ノ路線ニ付テ申上ゲルコトハ非常ニ煩雜デアリマスルシ、又皆様ノ御手許ニ、其ノ長サモ幅員モ其ノ調べタモノガ參ツテ居リマスカラ其ノ一々ヲ申上ゲルコトハ省略致シマス、今御朗讀ニナツタ報告ニ付テ一言補充ヲ致シタ次第デア

○七十番(牧 彦七君) 私一言特別委員會ノ委員長ニ御尋ヲ致シタイノデアリマス、只今委員長ヨリ詳細懇切ヲ極メタル御説明ヲ得マシテ大イニ満足ヲ致ス次第デアリマス、又此ノ百九號議案中第四號路線ニ付キマシテ、宮城外廓ノ風致問題ニ特別委員ガ御氣付カレマシテ、一時之ヲ本案カラ除カレタ點ニ付テハ委員諸氏ノ御達見ニ敬服スルノデアリマス、之ヲ以テ特別委員ガ、本案ノ審議ニ付キマシテ如何ニ慎重ヲ盡サレタカト云フ點ヲ十分御察シスルコトガ出來ルノデアリマス、就キマシテ御尋ネシタイ點ハ、斯クマデ慎重ヲ盡サレタ御審議ノ中ニ、本案ノ三號路線ト、復興計畫ノ補助線第七號トノ連絡デアリマスガ、即チ獨逸大使館ノ西側ヲ通ツテ居ル道路デアリマス、此ノ路線ハ勿論中央官衙敷地外ニ當ルノデアリマスケレドモ、帝都復興計畫ノ大局カラ見マスレバ、我ガ東京市ノ街路網構成上、相當必要ナ路線デアルカノヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、唯此ノ際委員長ニ御尋スルコトハ、其ノ連絡路線ガ特別委員會ノ問題ニナツタカナラナカツタカ、此ノ點ダケヲ御伺ヒシタイノデアリマス、其ノ御答ニ依ツテハ更ニ第二問ヲ續ケタイト思フノデアリマス

○三十二番(橋本圭三郎君) 只今牧博士カラ御尋ノ問題ハ、特別委員會ニ於テハ誰カラモ一言モ話ガナカツタノデアリマス、其ノ點ニ付テハ觸レナカツタト御承知ヲ願ヒマス

○七十番(牧 彦七君) 特別委員長ニ御禮ヲ申上ゲマス、就キマシテ當局ニ一言御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、只今私が特別委員長ニ御尋ネシタ路線ハ、我ガ帝都ノ街路網構成上相當必要ナ路線デアルト私ハ見受ケルノデアリマス、丁度靖國神社ノ横カラ富士見町、上二番町、五番町、英國大使館ノ後ロ、衛戍病院ノ後ロヲ通ツテ、平河町ヲ經テ、中央官衙敷地内ヲ經マシテ葵町芝方面ト稍々直通路線ニナル路線デアリマス、是ガ今日迄計畫ニ漏レテ居ツタコトガ實ハ怪シマル位ノモノデナカラウカト私ハ考ヘタノデアリマス、モウノ此ノ際クドイコトハ申上ゲマセヌガ、復興局ニ於テハ定メシ此ノ連絡街路ニ付キマシテ相當御研究中ノコトデアラウトハ御察シスル次第デアリマスガ、未ダ調査未了ノ爲ニ本會ニ付議スルマデニ至ラナイノデナカラウカ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ一應當局者ノ御答ヲ伺ツテ置キタイト考ヘマス

○復興局長官(中川 望君) 只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、問題ノ路線ニ付キマシテハ、當局ニ於テ慎重ニ調査研究中デゴザイマス、未ダ其ノ研究中デアリマシテ、調査未了ノ爲ニ提案ニ至ラナイノデ、御察シノ通りデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(會長安達謙藏君) 別段ニ御發議ガ他ニゴザイマセヌカラ、日程第一、議第一〇八號、議第一〇九號ノ二件ハ、特別委員長報告ノ通り決定致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(會長安達謙藏君) 次ハ日程第二ニ移リマス

第二 議第一二一號 東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件(特別委員長報告)

〔幹事 朗讀〕

報 告

本特別委員會ハ昭和四年六月七日付託セラレタル議第一二一號議案東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件ニ付同年六月十一日同月二十五日及七月五日ノ三回會議ヲ開キ尙六月十七日及同月二十九日ノ二回實地調査ヲ爲シ慎重審議ノ結果左ノ通修正シ他ハ全部原案ヲ適當ト認メ候條此段及報告候也

昭和四年七月五日

特別委員長 渡 邊 鐵 藏

特別都市計畫委員會會長 安 達 謙 藏殿

修 正 事 項

議第一二一號 議案東京都市計畫事業

古川改修受益者負擔ニ關スル件左ノ通修正ス

記

第四條中「百分ノ二十八」ヲ「百分ノ十三」ニ改ム

第五條中「百分ノ十二」ヲ「百分ノ十七」ニ改ム

第六條第二項中「土地」ヲ「有租地」ニ、「各受益者ト看做ス」ヲ「各受益者トス」ニ、同條第三項中

「最後ニ設定シタルモノノ權利者ヲ以テ受益者ト看做ス」ヲ「最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ

以テ受益者トス」ニ改ム

第八條但書中「第二號」ヲ「第三號」ニ改メ、同條第二號ヲ第三號トシ同條第一號ヲ第二號トシ同條

ニ左ノ一號ヲ加フ

一 同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複シテ

負擔スヘキ關係ニ該當スルトキ

議第一二一號議案參考書

東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件(修正對照)

第一條 東京市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ古川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依

リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線ヨリ其兩側ニ於テ三十間ノ地域トス

改修前ノ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス

凡例
修正……(新)
……(舊)

別ニ負擔區劃ノ限界ヲ定ムルコトヲ得

第三條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ前條ノ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ各地帶ノ負擔歩合ヲ定ム

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ事業費ノ百分ノ十三百分ノ十三ヲ負擔區劃内ニ在ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ前條ノ負擔歩合及各受益者ノ土地ノ面積ヲ乘ジタルモノトス

第五條 前數條ニ定ムルモノノ外河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側各六間ノ區域内ニ在ル有租地ノ所有者ヲシテ事業費ノ百分ノ十二百分ノ十七ヲ當該區域内ニ在ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ各所有者ノ土地ノ面積ヲ乘ジタル金額ヲ負擔セシム

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十分シ毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル土地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者ト看做ス各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)

最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

二以上存スルトキハ最後ニ設定シタモノノ權利者ヲ以テ受益者ト看做ス

第七條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額(負擔金ノ第一回ノ計算ニ付テハ前年度以前ノ事業費精算合計額)ニ依リ之ヲ算出ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第二號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ量複シテ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキ

二 土地ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

三 古川改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シタルトキ

第九條 左ニ掲クル事項ハ市長之ヲ告示ス

一 第三條ノ地帶及負擔歩合

二 第四條及第五條ノ一坪當金額

三 事業著手ノ日

四 第六條第一項ノ期日

第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ガナケレバ其ノ通り決定致シマス、——日程第三、渡邊特別委員長報告

第三 議第一二二號 東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件

(特別委員長報告)

〔幹事 朗讀〕

報 告

本特別委員會ハ昭和四年六月七日付託セラレタル議第一二二號議案東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件ニ付同年七月十日及同月十七日ノ二回會議ヲ開キ慎重審議ノ結果左ノ通修正シ他ハ全部原案ヲ適當ト認メ候條此段及報告候也

昭和四年七月十七日

特別委員長 渡 邊 鐵 藏

特別都市計畫委員會會長 安 達 謙 藏殿

修 正 事 項

議第一二二號議案東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件左ノ通修正ス

記

二條第二項中「前項」ヲ「第一項」ニ改メ、同項ヲ第三項トシ同條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
東京市ノ區域外ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ七倍迄擴張スルコトヲ得

第四條第一項但書中「第二條第二項」ヲ「第二條第三項」ニ改メ、同條ノ末尾ニ左ノ一項ヲ加フ
隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項ノ事業費トスルコトヲ得

第六條ノ末尾ニ左ノ一項ヲ加フ

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ間口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄低下シ其ノ殘額ヲ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ムルコトヲ得

第七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル有租地ニ付テハ

其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利（所有權ヲ除ク）ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

第十條中「第二條第二項」ノ下ニ「及第三項」ヲ、「第五條ノ地帶及率」ノ下ニ「第六條第二項ノ規定ニ依ル間口負擔ノ割合」ヲ加フ

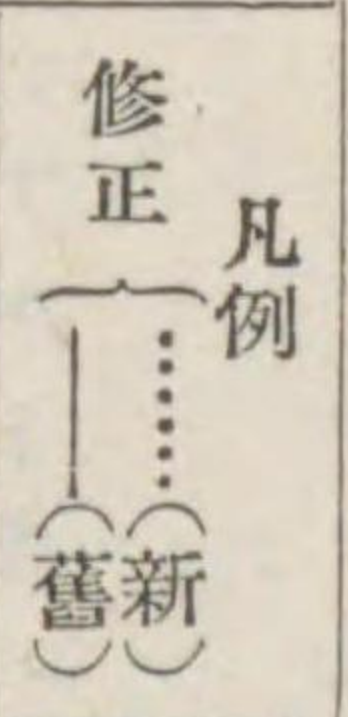
議第一二二號議案參考書

東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件（修正對照）

第一條 東京市ハ大正十年五月内閣認可東京都市計畫事業街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設改修中市長ノ執行スヘキ事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ附近ニ於テ道路ノ境界線（街角ヲ翦除シタル部分ニ於テハ其ノ翦除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線）ヨリ道路ノ幅員ノ五倍ノ地域トス

東京市ノ區域外ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ七倍迄擴張スルコトヲ得



第一項 前項ノ地域内ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘其ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界ト爲スコトヲ得

第三條 市長ハ路線、道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ム

第四條 受益者ノ負擔スヘキ金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一、道路擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トシ負擔區毎ニ之ヲ定ム但シ第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ノ限界ヲ定メタル場合ニ於テ第二條第一項ノ地域内ニ在ル限界外ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔セシムルモノトセハ其ノ負擔金額ハ之ヲ控除ス負擔區内ニ負擔金ヲ負擔セサル土地アル場合ニ於テ其ノ負擔金額ニ付亦同シ道路擴張ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項ノ事業費トスルコトヲ得

第五條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ負擔區ヲ一箇又ハ數箇ノ地帶トシテ一定ノ率ニ依リ各地帶ノ負擔額ヲ定ム

第六條 新設又ハ擴張スル道路ニ接スル地帶内ニ在リテハ其ノ地帶ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ道路ニ接ス

ル土地ノ部分ノ長ニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ム

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ間口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄低下シ其ノ殘額ヲ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ムルコトヲ得

第七條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ事業著手後毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル土地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス
前項ノ負擔金額カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 土地利用ノ狀況又ハ建物ノ階層ニ依リ前條第一項ニ依リ算出シタル金額ノ外其ノ五割以内ヲ增課スルコトヲ得

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第三號ノ場合ニ於テハ寄附額ヲ超ユルコトヲ得ス

- 一 同一ノ土地ニシテ本令又ハ他ノ規定ニ依リ同一年度内ニ重複シテ道路工事ニ關スル負擔金ヲ負擔スル關係ニ該當スルトキ
- 二 地形ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ
- 三 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタルモノアルトキ

第十條 第二條第二項及第三項ノ規定ニ依ル負擔區劃ノ限界、負擔區、第五條ノ地帯及率、第六條第

二項ノ規定ニ依ル間口負擔ノ割合、事業費豫算額及精算額、事業著手ノ日、第七條第一項ノ期日並

負擔金ヲ增課スル事項及增課割合ハ市長之ヲ告示スヘシ

第十一條 本令施行ノ際既ニ著手セル事業ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス

第十二條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

七九六

○二番(渡邊鐵藏君) 只今議第一二一號ニ付テハ既ニ皆様ノ御同意ヲ得テ、簡單ニ御決定ヲ願ツタノデアリマスガ、此第一二二號ニ付テハ只今朗讀致シマシタ通り御報告ヲ致シテ置キマシタ次第デアリマス、此審議ノ經過ニ付テ概略御報告ヲ申上ゲテ置キタイト考ヘマス、委員會ニ於キマシテハ本案ニ就テ數回ノ會議ヲ重ネマシタノデアリマスガ、此第一二二號議案ニ付テノ問題ノ要點ハ、東京府デ執行シテ居リマス環狀線放射線等ノ受益者負擔ハ、道路幅員ノ七倍デアル、然ルニ郡部デアルニ拘ラズ東京市デ執行シツ、アル部分ハ五倍トナツテ居ル、サウ云フコトハ實際上是カラ始終問題ガ起リハシナイカト云フ點ニ在ツタノデアリマスガ、結局只今ノ修正案ノ通りニ致シマシテ「東京市ノ區域外ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ七倍迄擴張スルコトヲ得」ト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ之ニ關聯致シマシテ、第六條ノ末尾ニ一項ヲ加ヘマシテ、「第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ間口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄低下シ其ノ殘額ヲ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ムルコトヲ得」ト致シマシテ、市デ執行スル場合ノ受益者負擔ノ間口割ハ、三分ノ一迄低下スルコトガ出來ルト云フコトニ致シタノデアリマス、其ノ他第四條ニ於キマシテ隧道橋梁其ノ他特殊ノ工事ニ付テ著シク多額ノ工費ヲ要スルモノガアル場合ノコトヲ考ヘマシテ、或ル負擔區ノ負擔金ガ非常ニ重過ギ

ルト云フコトノ起リ得ル場合ヲ考ヘマシテ、斯様ノ場合ニハ工事費ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ事業費トスルコトニ致シタノデアリマス、負擔ノ平衡ヲ期シタイト云フ意味デ、斯ル修正ヲ致シタノデアリマス、第七條第二項ノ修正ハ唯用語ヲ直シタ丈ケデアリマシテ趣旨ニ於テ變リハナイノデアリマス、同條第三項「同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス」、此規定ヲ插入致シマシタノハ、同一ノ土地ニ付テ所有權以外ノ權利ガニ以上存スルトキハ、何人ヲ以テ受益者トスルカト云フコトヲ明ニシタノデアリマスガ、是ハ古川、目黒川ノ受益者負擔ノ規定ニ付テモ同ジヤウナ精神ガ這入ツテ居リマスカラ、其ノ規定ニ則ツタノデアリマス、第十條ノ修正ハ、第二條ト第六條ノ修正ガ出來マシタノデ、間口負擔ノ割合ヲ變更シタ場合ハ、市長ノ告示事項ノ中ニ之ヲ入レルト云フコトヲ規定シタノデアリマス、以上ノ外ハ全部原案通り委員會ニ於テ可決致シマシタカラ、ドウカ此席上ニ於テモ滿場御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス

「賛成」「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長安達謙藏君) 日程第三モ特別委員長御報告ノ通り御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長安達謙藏君) ソレデハ御異議ナイモノト認メマシテ、委員長報告ノ通り決定致シマス

七九七

—是ニテ日程全部議了致シマシタカラ閉會致シマス
午前十一時三十分 散會

參考

左記ハ議第一二一號議案特別委員會ニ於ケル原案修正理由ノ大要ニシテ議事ノ都合ニヨリ演述セラレザリシモノナリ

一 第四條中「百分ノ二十八」ヲ「百分ノ十三」ニ、第五條中「百分ノ十二」ヲ「百分ノ十七」ニ改メタルハ原案ハ事業費ノ百分ノ四十二ニ相當スル金額ヲ基本トシテ負擔金ヲ算出シ結局事業費ノ四分ノ一ニ相當スル實収入ヲ得ムトスルモノナルモ本川改修ノ目的タルヤ洪水時ニ於ケル被害ヲ免ルルヲ主眼トシ河川利用ノ便ニ乏シク畢竟消極的ノ利益ヲ享クルニ過キサレモノナルヲ以テ原案ニ於ケル負擔金ハ稍重キニ過クルノ感アルヲ以テ當局ノ説明及實地調査ノ結果ニ依リ原案ノ百分ノ四十四ヲ百分ノ三十二低下シ而シテ一般負擔ノ基本額ハ之ヲ輕減シテ「百分ノ十三」トシ護岸負擔ハ之ヲ「百分ノ十七」ニ増加スルヲ實情ニ適スルモノト認メタルニ由ルモノナリ
右修正案ト原案トヲ對照スルニ其ノ一坪當負擔額ハ

△印ハ減

區分	般 負 擔 (坪當)				護岸負擔(坪當)
	第一地帶	第二地帶	第三地帶	平均	
原 案	一一、二七〇	九、〇二一	七、二一七	九、一七〇	二二、五〇〇
改 正 案	五、〇六〇	四、〇五一	三、二四〇	四、一一七	三〇、八〇八
差引 增 減	△ 六、二一〇	△ 四、九七〇	△ 三、九七七	△ 五、〇五三	八、三〇八

ニシテ修正案ニ依ル實収入ハ約四十七萬圓トナリ原案ニ比シ約二十八萬圓ノ減收トナルヘキモ前述芝浦埋立地ノ賣却代金ニ於テ相當增收アルヘキニ付大體之ヲ以テ其ノ缺陷ヲ補充シ得ヘキ見込ナリ
二 第六條中ノ改正ハ趣旨ニ於テ原案ト異ナル處ナキモ用語ヲ修正シテ其趣旨ヲ明カナラシメタルモノナリ
三 第八條ニ一號ヲ加ヘタルハ同一年度内ニ重複シテ受益者負擔金ヲ負擔スヘキ場合ニ於テハ本令ニ依ル負擔金ヲ相當輕減スルヲ適當ト認メ目黒川受益者負擔規定其ノ他ノ前例ニ倣ヒ減免ノ規定ヲ設ケタルモノナリ

附
錄
(內務省令 內務省告示)

省 令

●内務省令第二十號

東京市都市計畫王子町下水道事業受益者負擔ニ關スル件左ノ通定ム

昭和四年六月十五日

内務大臣 望 月 圭 介

東京都市計畫王子町下水道事業受益者負擔ニ關スル件

第一條 王子町ハ都市計畫事業トシテ王子町長ノ執行スベキ下水道事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル

所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 本令ニ於テ受益者ト稱スルハ左記各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ但シ同一ノ土地ニ付第一號但

書又ハ第二號ノ權利ニ以上存スルトキハ最後ニ設定シタルモノノ權利者ヲ謂フ

- 一 排水區域内ニ在ル有租地ノ所有者但シ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者、地上權、永小作權及賃借權ノ設定シアル土地ニシテ事業著手前設定ノモノハ事業著手ノ日ヨリ其ノ他ノモノハ設定ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ存スルモノニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人

二 排水区域内ニ在ル公用又ハ公共ノ用ニ供セラレサル無租地ニシテ地上權、永小作權及賃借權ノ設定シアルモノノ地上權者、永小作人及賃借人

第三條 各受益者ノ負擔金額ハ事業費ノ三分ノ一ヲ受益者ノ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ外負擔金ヲ増課スルコトヲ得

一 下水道事業ニ因リ土地ガ著シク其ノ利用ヲ増進スルトキ

二 下水道ニ排除スル汚物量著シク多量ナル事業ヲ經營スル者アルトキ

三 階數三ヲ超ユル建物存スルトキ前項ノ規定ニ依リ増課スベキ金額ハ前項第一號及第二號ノ場合ニ在リテハ前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ五割ヲ第三號ノ場合ニ在リテハ前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ二十割ヲ超ユルコトヲ得ズ

第五條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額ニ依リ毎年一回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム

第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第二號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 下水道利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

二 下水道事業ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地物件勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ王子町長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄行シタルトキ

第七條 左ニ掲クル事項ハ王子町長之ヲ告示ス

一 事業著手ノ日

二 毎年度ノ事業費精算額

三 第四條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ増課スル土地、事業及金額又ハ割合

四 第五條ノ期日

第八條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ王子町長之ヲ定ム

第九條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●内務省令第二十一號

東京都市計畫事業目黒川改修受益者負擔ニ關スル件左ノ通定ム

昭和四年六月十五日

内務大臣 望 月 圭 介

東京都市計畫事業目黒川改修受益者ニ負擔關スル件

第一條 東京府ハ大正十一年十二月十二日內務省告示第三百四十五號ニ依リ東京府知事ニ於テ執行スル東京都

市計畫事業目黒川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年^九内務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線(沈澱地ノ附近ニ於テハ其ノ境界線)ヨ

リ其ノ兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ五倍ノ地域トス但シ船溜又ハ公共物揚場ノ附近ニ於テハ其ノ境界線ヨリ河川ノ幅員ト船溜又ハ公共物揚場ノ幅員トノ和ノ五倍ノ地域トス

改修前ノ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラズ別ニ負擔區劃ノ限界ヲ定ムルコトヲ得

第三條 河川ノ幅員事業執行年度又ハ土地ノ狀況等ニ依リ府知事ハ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ム

第四條 受益者ノ負擔スベキ金額ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トシ負擔區毎ニ之ヲ定ム但シ第二條第二項

ニ依リ負擔區劃ノ限界ヲ定メタル場合ニ於テハ第二條第一項ノ地域内ニ在ル限界外ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔スベキモノトセハ其ノ負擔金額ハ之ヲ控除ス負擔區内ニ負擔金ヲ負擔セザル土地アル場合

ニ於テ其ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔スベキモノトセバ其ノ負擔金額ニ付亦同シ

第五條 府知事ハ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帯トシ一定ノ率ニ依リ各地帯ノ負擔額ヲ定ム

第六條 船溜ヨリ下流ニ於ケル河川、船溜又ハ公共物揚場ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔

額ノ二分ノ一ヲ河川、船溜又ハ公共物揚場ニ接スル部分ノ長ニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ム

道路ヲ隔テテ河川、船溜又ハ公共物揚場ニ接スル土地ハ前項ノ適用ニ付テハ之ヲ河川、船溜又ハ公共物揚場ニ接スルモノト看做ス

第七條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ事業著手後毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年^九内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス
前項ノ負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還

付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ
第八條 第二條第二項ノ負擔區劃ノ限界、負擔區、第五條ノ地帯及率、事業費豫算額及精算額並事業

著手ノ日ハ府知事之ヲ告示スベシ

第九條 同一ノ土地ニシテ重複シテ負擔金ヲ負擔スル關係ニ該當スルモノニ付テハ其ノ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

同一ノ土地ニシテ事業著手ノ日ヨリ七年内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複シテ負擔スル關係ニ該當スルモノニ付テハ本令ニ依ル負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ斟酌スベキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ハ之ヲ減免スルコトヲ得

第十一條 河川ノ改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得府知事ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同ジ

第十二條 本令施行ノ際既ニ事業ニ著手セル部分ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス

第十三條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●内務省令第三十四號

東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件左ノ通定ム

昭和四年八月一日

内務大臣 安 達 謙 藏

東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件

第一條 東京市ハ大正十五年五月内閣認可東京都市計畫事業街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告示

第四百九號東京都市計畫道路ノ新設、改修中市長ノ執行スベキ事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ附近ニ於テ道路ノ境界線（街角ヲ翦除シタル部分ニ於テハ其ノ翦除セザル部分ノ道路境界線）ヲ延長シタル線ヨリ道路ノ幅員ノ五倍ノ地域トス東京市ノ區域外ニ於テ土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ七倍迄擴張スルコトヲ得

第一項ノ地域内ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘其ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界ト爲スコトヲ得

第三條 市長ハ路線、道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ム

第四條 受益者ノ負擔スベキ金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一、道路擴張ノ場合ハ其ノ

事業費ノ四分ノ一トシ負擔區毎ニ之ヲ定ム但シ第二條第三項ノ規定ニ依リ負擔區劃ノ限界ヲ定メタル場合ニ於テ第二條第一項ノ地域内ニ在ル限界外ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔セシムルモノトセハ其ノ負擔金額ハ之ヲ控除ス負擔區内ニ負擔金ヲ負擔セザル土地アル場合ニ於テ其ノ負擔金額ニ付亦同ジ道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員ガ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項ノ事業費トスルコトヲ得

第五條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ負擔區ヲ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ一定ノ率ニ依リ各地帯ノ負擔額ヲ定ム

第六條 新設又ハ擴築スル道路ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ道路ニ接スル土地ノ部分ノ長ニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ム

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ間口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄低下シ其ノ殘額ヲ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ムルコトヲ得

第七條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ事業著手後毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ

納付セシム

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年^九内務省令第二十八號及前項ノ權利（所有權ヲ除ク）ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス

前項ノ負擔金額カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 土地利用ノ狀況又ハ建物ノ階層ニ依リ前條第一項ニ依リ算出シタル金額ノ外其ノ五割以内ヲ増課スルコトヲ得

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第三號ノ場合ニ於テハ寄附額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 同一ノ土地ニシテ本令又ハ他ノ規定ニ依リ同一年度内ニ重複シテ道路工事ニ關スル負擔金ヲ負擔スル關係ニ該當スルトキ

二 地形ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

三 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタルモノアルトキハ

第十條 第二條第二項及第三項ノ規定ニ依ル負擔區劃ノ限界、負擔區、第五條ノ地帶及率、第六條第二項ノ規定ニ依ル間口負擔ノ割合、事業費豫算額及精算額、事業著手ノ日、第七條第一項ノ期日並負擔金ヲ増課スル事項及増課割合ハ市長之ヲ告示スベシ

第十一條 本令施行ノ際既ニ著手セル事業ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス
第十二條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●内務省令第三十五號

東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件左ノ通定ム

昭和四年八月一日

内務大臣 安 達 謙 藏

東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件

第一條 東京市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スベキ古川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依

リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年九内務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ三十間ノ地域トス
改修前ノ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラズ別ニ負擔區劃ノ限界ヲ定ムルコトヲ得

第三條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ前條ノ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ各地帶ノ負擔歩合ヲ定ム

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ事業費ノ百分ノ十三ヲ負擔區劃内ニ在ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ前條ノ負擔歩合及各受益者ノ土地ノ面積ヲ乘ジタルモノトス

第五條 前數條ニ定ムルモノノ外河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側各六間ノ區域内ニ在ル有租地ノ所有者ヲシテ事業費ノ百分ノ十七ヲ當該區域内ニ在ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ各所有者ノ土地ノ面積ヲ乘ジタル金額ヲ負擔セシム

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十分シ毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム
事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權、及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス
同一ノ土地ニ付大正九年九内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ

最後ニ設定セラレタルモノノ権利者ヲ以テ受益者トス

前二項ノ規定ハ第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ負擔セシムル場合ニ之ヲ適用セズ

第七條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額(負擔金ノ第一回ノ計算ニ付テハ前年度以前ノ事業費精算合計額)ニ依リ之ヲ算出ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第三號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複シテ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

二 土地ノ狀況ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

三 古川改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シタルトキ

第九條 左ニ掲クル事項ハ市長之ヲ告示ス

- 一 第三條ノ地帶及負擔歩合
- 二 第四條及第五條ノ一坪當金額
- 三 事業著手ノ日

四 第六條第一項ノ期日

第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

告 示

●内務省告示第四百十九號

大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中街路ノ部幹線第八號路線ノ次ニ左ノ廣場ヲ加フルノ件昭和三年六月十五日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和三年六月十八日

内務大臣 望 月 圭 介

宮城外苑内廣場 面積約一萬六千坪 (圖面省略)

●内務省告示第五百二十二號

東京都市計畫街路事業並其ノ執行年度割左ノ通改ムルノ件昭和三年六月十六日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和三年六月二十日

内務大臣 望 月 圭 介

第一 大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中左ノ通變更ス

東京都市計畫事業街路ノ部

二等大路第二類第十二號線路ヲ左ノ通改ム

二等大路第一類第十四 幅員 十間

小石川區初音町十四番地地先電車通ヨリ戸崎町、白山御殿町、氷川下町ヲ經テ巢鴨町字宮下千七百五十九番地地先電車終點ニ至ルノ路線

第二 昭和二年八月十八日内務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設、改修中市内ノ部第七號線路ヲ

都市計畫事業トス

第三 大正十四年八月十一日内務省告示第三百三十九號東京都市計畫街路ノ新設、擴張事業執行年度割左ノ通改ム

東京都市計畫事業中左ノモノハ大正十四年度ヨリ昭和六年度迄七箇年度ニ繼續執行スルモノトシ
昭和三年度以降ノ年割左ノ通定ム

一 大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ハ新設、擴張中

一等 大路第三類第二號線

一等 大路第三類第三號線中起點ヨリ千駄ヶ谷町府縣道第百八十三號千駄ヶ谷赤坂線ニ至ル

區間及天現寺橋ヨリ四ノ橋北詰ニ至ル區間

一等 大路第三類第十號線市部區間

一等 大路第三類第十一號線中市部區間

二等 大路第一類第七號線

二等 大路第一類第十二號線中市部區間

二等 大路第一類第十四號線

二等 大路第二類第一號線中千駄ヶ谷町字北ノ脇三百三十八番地ヨリ大字代々木八十九番地

地先明治神宮ニ至ル區間

二等 大路第二一第十五號線

二等 大路第三類第二號線中四ノ橋南詰

二等 大路第三類第三號線中市ヶ谷臺町九十三番地三十一號地地先ヨリ同七十五號地地先ニ

至ル區間

二等 大路第三類第五號線

二 昭和二年八月十八日内務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設、改修中

市内ノ部

第七號路線

事業執行年割

昭和三年度 約二割
 昭和四年度 約二割四分
 昭和五年度 約一割七分
 昭和六年度 約一割七分

●内務省告示第五百五十三號

大正十四年八月十一日内務省告示第四百十號東京都市計畫東京市下水道(速成)事業執行年限並年割左ノ通變更ノ件昭和三年六月十六日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和三年六月二十日

内務大臣 望 月 圭 介

大正十四年八月十一日内務省告示第四百十號東京都市計畫東京市下水道(速成)事業ハ大正十四年度ヨリ昭和六年度迄七箇年度ニ繼續執行スルコトニ改メ昭和三年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

昭和三年度 約二割八分
 昭和四年度 約五分八厘

昭和五年度 約六分五厘
 昭和六年度 約六分一厘

●内務省告示第三百二十六號

東京都市計畫王子町下水道及其ノ事業執行年割左ノ通決定スルノ件昭和三年十二月十五日内閣ノ認可ヲ得タリ (圖面省略)

昭和三年十二月二十四日

内務大臣 望 月 圭 介

第一 東京都市計畫王子町下水道ヲ左ノ通定ム

東京都市計畫王子町下水道

- 一、下水排除區域ハ東京府北豐島郡王子町ノ内ノ大字上十條ノ一部ヲ除キタル區域ニシテ總面積約百五十七萬四千九百坪トス
- 二、下水排除量ハ汚水量ハ全町人口ヲ約九萬人ト豫想シ一人當リ一日平均六立方尺ノ半量ヲ八時間ニ排泄スルモノトシ雨水量ハ一時間五十耗トシテ之ヲ定ム
- 三、下水排除方法ハ合流法ニ依リ雨水及汚水ヲ同一管渠ニ收容シ自然流下ニ依リ荒川、石神井川及汚水路ニ排出ス

四、下水管渠ノ構造ハ總テ暗渠式トシ排水量ノ多寡ニ應シテ陶管、鐵筋「コンクリート」管及「コンクリート」矩形渠ノ三種ヲ使用ス

五、地勢ニ依リ下水排除區域ヲ荒川排水區、石神井川排水區及船窪排水區ノ三區ニ分割ス

各區ノ區域面積及下水道延長左ノ如シ但シ工事施行ノ情況ニ依リ多少ノ増減ヲ見ルコトアルヘシ

荒川排水區

區 域 大字船方ノ全部、大字堀ノ内、豊島及下十條ノ各一部

面 積 約五十五萬三千八百五十坪

下水道延長 約一萬九千三百七十一米

石神井川排水區

區 域 大字王子ノ全部、大字堀ノ内、豊島、下十條及上十條ノ各一部

面 積 約九十九萬六百二十坪

下水道延長 約四萬五千二百二十九米

船窪排水區

區 域 大字上十條ノ一部

面 積 約三萬四百三十坪

下水道延長 約一千七百九十五米

第二 前項ノ計畫ハ之ヲ都市計畫事業トシテ昭和三年度ヨリ昭和十七年度迄十五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通定ム

下水道事業執行年割

昭和三年度	約五分一厘
同 四年度	約六分三厘
同 五年度	約五分九厘
同 六年度	約六分九厘
同 七年度	約七分九厘
同 八年度	約七分九厘
同 九年度	約七分九厘
同 十年度	約七分九厘
同 十一年度	約七分九厘
同 十二年度	約六分八厘

同	十三年度	約六分九厘
同	十四年度	約五分九厘
同	十五年度	約五分九厘
同	十六年度	約五分九厘
同	十七年度	約四分九厘

●内務省告示第三百二十七號

東京都市計畫大崎町下水道及其ノ事業執行年割左ノ通決定スルノ件昭和三年十二月十五日内閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

昭和三年十二月二十四日

内務大臣 望 月 圭 介

第一 東京都市計畫大崎町下水道ヲ左ノ通定ム

東京都市計畫大崎町下水道

一、下水道排除區域ハ東京府荏原郡大崎町ノ内第一期下水道事業ニ屬スル區域ヲ除キタル大部分ニシテ總面積約五十五萬一千六百一十一坪トス但シ地勢ニ依リ本町ニ流入スル隣接市町一部ノ下水ハ之ヲ收容スル計畫トス

二、下水排除量ハ汚水量ハ全町人口ヲ約九萬人ト豫想シ一人當リ一日平均六立方尺ノ半量ヲ八時間ニ排泄スルモノトシ雨水量ハ一時間五十耗トシテ之ヲ定ム

三、下水排除方法ハ合流法ニ依リ汚水及雨水ヲ同一管渠ニ收容シ自然流下ニ依リ其ノ大部ハ目黒川ニ排出シ一部ハ東京市下水道ニ合流ス

四、水管渠ノ構造ハ主トシテ暗渠式トシ排水量ノ多寡ニ應シテ陶管鐵筋「モルタル」管及鐵筋「コンクリート」管ノ三種ヲ使用ス

五、地勢ニ依リ下水排除區域ヲ目黒川南部排水區、目黒川北部排水區、及長者丸排水區ノ三區ニ分割ス
各區ノ區域、面積及下水道延長左ノ如シ但シ工事施行ノ情況ニ依リ多少ノ増減ヲ見ルコトアルヘシ

目黒川南部排水區

區 域 目黒川以南

面 積 約二十三萬六千二十五坪

下水道延長 約一萬八千九百八十六米

目黒川北部排水區

區 域 目黒川以北(但シ長者丸排水區ヲ除ク)

面 積 約二十七萬二千五十六坪

下水道延長 約一萬一千三百六十米

長者丸排水區

區 域 三田用水路以北(但シ鐵道附近ノ一部ヲ除ク)

面 積 約四萬三千八十坪

下水道延長 約三千二百二十一米

第二 前項ノ計畫ハ之ヲ都市計畫事業トシテ昭和四年度ヨリ昭和八年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通定ム

下水道事業執行年割

昭和四年度 約八分四厘

同 五年度 約八分六厘

同 六年度 約二割七分七厘

同 七年度 約二割八分二厘

同 八年度 約二割七分一厘

●内務省告示第三百二十八號

昭和二年八月十八日内務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設、改修中市内ノ部第十二號路線ノ一部ヲ圖面ノ通改ムルノ件昭和三年十二月十五日内閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

昭和三年十二月二十四日

内務大臣 望 月 圭 介

●内務省告示第三百二十九號

東京市區改正設計火葬場及共葬墓地ノ部共葬墓地中左ノ通改ムルノ件昭和三年十二月十九日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和三年十二月二十四日

内務大臣 望 月 圭 介

第五 谷中墓地

下谷區谷中墓地 面積凡三萬一千二百坪

●内務省告示第九十三號

東京市區改正設計公園之部中左ノ公園ヲ削ルノ件昭和四年四月二日内閣ノ認可ヲ得タリ
昭和四年四月六日

内務大臣 望 月 圭 介

番號	名稱	位置	面積
十一	御玉ヶ池公園	神田區東松下町松枝町ノ内	凡千七百坪
十四	鳥原公園	京橋區木挽町一丁目ノ内	凡二千五百坪
二十九	鳥越公園	鳥越神社境内及元鳥越町ノ内	凡八百五十六坪
三十	淺草橋公園	淺草橋内廣場	凡六百九坪

●内務省告示第二百二十一號

大正十四年一月内務省告示第十四號東京都市計畫區域内ニ於ケル市街地建築物法第一條ノ規定ニ依ル地域左ノ通變更並指定シ昭和四年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年四月二十五日

内務大臣 望 月 圭 介

第一 商業地域之部

一 東京市内

イ中

神田區内

一ノ中「表神保町、レノ下ニ「通神保町、表猿樂町、猿樂町二丁目、レヲ加フ

二ノ中「通神保町、表猿樂町、レヲ削リ、「佐柄木町、レノ下ニ「小川町、猿樂町三丁目、レヲ加フ

芝區内

二ノ中「愛宕町一丁目、レヲ削ル

下谷區内

一ノ中「西町、レノ下ニ「南稻荷町、北稻荷町、レヲ「萬年町一丁目、レノ下ニ「同二丁目、山伏町
新坂本町、豊住町、入谷町、龍泉寺町、レヲ加フ

二ノ中坂本町一丁目、金杉上町ノ一部ヲ圖面ノ通改メ、「南稻荷町、北稻荷町、豊住町、龍泉寺町、レヲ削リ、「坂本町一丁目、レノ下ニ「同二丁目、同三丁目、同四丁目、レヲ加フ

淺草區内

一ノ中「西仲町、レノ下ニ「神吉町、南清島町、北清島町、永住町、七軒町、北三筋町、阿部川町、榮久町、森下町、高原町、南松山町、北松山町、松葉町、松清町、田島町、芝崎町、新谷町、光月町、レヲ「象潟町、レノ下ニ「千束町一丁目、レヲ加フ

二ノ中「北三筋町、榮久町、永住町、神吉町、森下町、千束町一丁目、レヲ削ル

ロ中左ノ通改ム

七 大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫街路ノ部中幹線(以下單ニ幹線ト謂フ)第三十五號ノ内神田區昌平橋南詰ヨリ佐柄木町幹線第二號交叉點迄第二號ノ内幹線第三十五號交叉點ヨリ小川町大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫街路ノ部中補助線(以下單ニ補助線ト謂フ)第八號交叉點迄及補助線第二十九號但シ猿樂町二丁目八番地地先ヨリ同三丁目三番地ノ三地先迄ノ區間ヲ除ク

十 幹線第三十六號ノ内芝區愛宕町一丁目補助線第十四號交叉點ヨリ同町三十二番地地先迄

十一 赤坂區溜池町三十番地ノ十三地先ヨリ辨慶橋南詰ヲ經テ傳馬町三丁目二番地ノ一地先ニ至ルノ路線

二十七 赤坂區青山北町四丁目九番地地先ヨリ同七十五番地地先ヲ左折シ豊多摩郡千駄ヶ谷町大字原宿字竹ノ下六十番地地先ヲ右折シ大字千駄ヶ谷字中村、同字内藤反甫及四谷區大番町七十七番地地先ヲ經テ鹽谷三丁目二十一番地地先ニ至ルノ路線

六十一 本郷區本郷四丁目二十二番地地先ヨリ菊坂町ヲ經テ田町四十五番地ノ一地先ヲ左折シ小石川區初音町十六番地地先ヲ右折シ柳町二十一番地地先ヲ左折シ戸崎町七十八番地ノ二地先及久堅町九十二番地地先ヲ經テ氷川下町七十一番地ノ一地先市郡境界ニ至ルノ路線

六十七 下谷區坂本町一丁目二十二番地ノ一地先ヨリ同二丁目、同三丁目、同四丁目及金杉上町ヲ

經テ金杉下町幹線第一號及同第五號接合點ニ至ルノ路線

六十八 削ル

六十九 削ル

七十 幹線第一號ノ内同第五號接合點ヨリ下谷區三ノ輪町四十番地ノ一地先市郡境界迄

七十二 下谷區坂本町三丁目三十二番地地先ヨリ上根岸町四十八番地ノ一地先ヲ右折シ同百三十一番地地先市郡境界ニ至ルノ路線

七十三 削ル

七十四 削ル

七十五 削ル

七十六 削ル

七十七 削ル

九十五 補助線第三十號ノ内下谷區坂本裏町起點ヨリ第六十七號路線交叉點迄

九十六 削ル

九十七 下谷區金杉上町補助線第三十二號起點ヨリ下根岸町四十四番地地先市郡境界ニ至ルノ路線

百三 削ル

百四 削ル
百五 削ル
百六 削ル

百十五 補助線第十四號ノ内芝區西久保櫻川町幹線第三十六號交叉點ヨリ同町終點迄

百十六 芝區愛宕町一丁目二十二番地地先ヨリ西久保巴町四十五番地地先ニ至ルノ路線但シ隧道ノ

部分ヲ除ク

百十七 幹線第四十號ノ内芝區西久保神谷町起點ヨリ西久保廣町二十九番地地先迄

百十八 神田區小川町三十二番地ノ三地先ヨリ同二十二番地ノ一地先ニ至ルノ路線

百十九 昭和二年八月内務省告示第四百九號東京都市計畫道路(以下單ニ都市計畫道路ト謂フ)市

内ノ部第十四號ノ内本郷區駒込坂下町百九十七番地地先ヨリ下谷區谷中初音町四丁目市郡境界

終點迄

百二十 都市計畫道路市内ノ部第七號

二 荏原郡内

イ中左ノ通加フ

玉川村ノ一部(圖面表示)

ロ中左ノ通加フ

十三 第三號路線終點ヨリ蒲田町ヲ經テ六郷町六郷橋北詰ニ至ルノ路線

十四 荏原町大字下蛇窪五千三百二十一番地ノ一地先ヨリ大字上蛇窪字西耕地ヲ經テ大字中延都市

計畫道路幹線放射道路第二號ニ至ルノ路線

十五 荏原町大字下蛇窪字宮前通六百七十番地地先第十四號路線交叉點ヨリ同字大塚原ヲ經テ大字

中延字瀬戸原百九十三番地地先都市計畫道路幹線放射道路第二號ニ至ルノ路線

十六 荏原町大字戸越字藪清水九百九十七番地地先第十七號路線交叉點ヨリ同字宮前ヲ經テ大字下

蛇窪字大塚原百七番地地先第十五號路線交叉點ニ至ルノ路線

十七 品川町大字南品川宿字南三ツ木千四番地地先ヨリ荏原町大字戸越都市計畫道路幹線放射道路

第二號ニ至ルノ路線

十八 荏原町大字戸越字中原二百十一番地地先都市計畫道路幹線放射道路第二號ヨリ大字小山字瀧

原三十四番地地先ニ至ルノ路線

十九 目黒町大字上目黒字伊勢脇千九百五十八番地ノ一地先第九號路線交叉點ヨリ同二千七十八番

地ノ一地先ニ至ルノ路線

- 二十 都市計畫道路補助線道路第八號ノ内入新井町大字新井宿第四號路線接合點ヨリ終點迄
- 二十一 都市計畫道路幹線環狀道路第八號ノ内東海道鐵道線路交叉點ヨリ豊多摩郡境界迄
- 二十二 都市計畫道路但シ左ニ掲クルモノヲ除ク

- 1 イノ區域及前各號ニ屬スルモノ
- 2 工業地域ニ屬スルモノ
- 3 幹線環狀道路第六號ノ一ノ内起點ヨリ三豊多摩郡内口第七號路線交叉點迄
- 4 補助線道路第三號
- 5 補助線道路第九十七號
- 6 市内ノ部第十二號
- 7 市内ノ部第十六號

三 豊多摩郡内

- イ中左ノ通加フ
- 野方町ノ内
- 一大字新井、大字上高田ノ一部(圖面表示)
- 杉並町ノ内

一大字天沼ノ一部(圖面表示)

井荻町ノ内

一大字下荻窪ノ一部(圖示表示)

ロ中左ノ通改ム

二十三 中野町大字中野字上町二千七百二十七番地ノ二地先ヨリ桃園橋ヲ經テ同字千光前三千八百

一番地ノ二地先ヲ右折シ同字圍三千百二番地ノ二地先ヲ左折シ野方町大字新井都市計畫道路補

助線道路第四十三號ニ至ルノ路線

三十一 澁谷町大字景丘三十五番地先ヨリ同四十九番地地先ニ至ルノ路線

三十二 野方町大字新井字原五百九十一番地ノ一地先都市計畫道路補助線道路第四十三號接合點ヨ

リ同字丸山新田五百三十一番地ノ一地先ヲ右折シ同四百四十六番地ノ二地先ヲ左折シ同二百六十八番地地先ヲ右折シ同二百四十六番地地先ヲ經テ落合町大字落合字四村都市計畫道路補助線

道路第三十六號ニ至ルノ路線

三十三 野方町大字新井字原六百三十三番地ノ二地先都市計畫道路補助線道路第四十三號接合點ヨリ大字江古田字丸山千五百三十四番地ノ一地先都市計畫道路補助線道路第四十四號ニ至ルノ路

線

三十四 杉並町大字馬橋二百十六番地地先都市計畫道路幹線放射道路第六號ヨリ大字高圓寺千三十番地地先都市計畫道路補助線道路第四十三號ニ至ルノ路線

三十五 杉並町大字阿佐ヶ谷字杉並七百三番地地先都市計畫道路幹線放射道路第六號接合點ヨリ字本村及西原ヲ經テ野方町大字上鷺宮字御嶽前都市計畫道路補助線道路第三十八號ニ至ルノ路線

三十六 杉並町大字阿佐ヶ谷字東原百八番地地先都市計畫道路補助線道路第四十三號接合點ヨリ大字天沼字四面道都市計畫道路幹線放射道路第六號ニ至ルノ路線

三十七 井荻町大字下荻窪百七十二番地地先都市計畫道路幹線放射道路第六號接合點ヨリ同二百七十一番地地先ニ至ルノ路線

三十八 井荻町大字下荻窪二百八番地地先都市計畫道路幹線放射道路第六號接合點ヨリ同二百五十八番地ノ一地先都市計畫道路幹線環狀道路第八號ニ至ルノ路線

三十九 都市計畫道路但シ左ニ掲クルモノヲ除ク
1 イノ區域及前各號ニ屬スルモノ

2 幹線放射道路第七號ノ内起點ヨリ補助線道路第四十四號交叉點迄

3 幹線環狀道路第六號ノ一ノ内起點ヨリ第七號路線交叉點迄

4 補助線道路第二十八號ノ内起點ヨリ幹線環狀道路第六號ノ一交叉點迄

5 補助線道路第百號

6 補助線路第百四號

7 市内ノ部第十二號

8 市内ノ部第十六號

四 北豊島郡内
ロ中左ノ通改ム

一 一東京市内ロ第五十二號路線終點ヨリ高田町、大字高田字千登世町、高田橋豊多摩郡落合町、北豊島郡長崎町及上板橋村ヲ經テ練馬町都市計畫道路幹線放射道路第七號ニ至ルノ路線

五 府縣道第五號東京川越線ノ内板橋町大字下板橋字平尾裏八百九十番地地先ヨリ練馬町都市計畫道路幹線放射線第八號接合點迄

二十三 高田町字高田字金久保澤千六百番地ノ一地先ヨリ同字八反目八百二十二番地地先ニ至ルノ路線
路線

二十四 巢鴨町巢鴨二丁目二十八番地ノ一地先ヨリ西巢鴨町大字巢鴨字庚申塚五百一番地ノ一地先ヲ經テ板橋町大字下板橋七百五十番地ノ一地先ニ至ルノ路線

二十五 都市計畫道路但シ左ニ掲クルモノヲ除ク

- 1 イノ區域及前各號ニ屬スルモノ
- 2 工業地域及工業地域内特別地區ニ屬スルモノ
- 3 補助線道路第百一號ノ内東京市境界ヨリ高田町大字雜司ヶ谷字水久保新田百十二番地地先迄
- 4 補助線道路第百二號
- 5 補助線道路第百五號
- 6 市内ノ部第二號

五 南足立郡内

ロ中左ノ通加フ

- 四 都市畫道路幹線放射道路第十二號ノ内同幹線環狀道路第七號交叉點ヨリ淵江村境界迄
 - 五 都市計畫道路幹線環狀道路第七號ノ内西新井町、梅島町ニ屬スル部分
 - 六 都市計畫道路補助線道路第六十六號ノ内同幹線環狀道路第七號交叉點ヨリ伊興村境界迄
 - 七 都市計畫道路補助線道路第七十二號ノ内同幹線環狀道路第七號交叉點ヨリ淵江村境界迄
 - 八 國道四號路線ノ内梅島町都市計畫道路幹線環狀道路第七號交叉點ヨリ淵江村境界迄
- 六 南葛飾郡内

ロ中左ノ通加フ

- 二 都市計畫道路但シ工業地域及工業地域内特別地區ニ屬スルモノヲ除ク

第二 工業地域之部

- 二 荏原郡内イ中「但シ第一商業地域之部ニ掲クルモノヲ除ク」ヲ「但シ第一商業地域之部（ロ第二十ニ號ヲ除ク）ニ掲クルモノヲ除ク」ニ改メ左ノ通加フ
 - 羽田町ノ全部
 - 六郷町ノ全部
 - 蒲田町ノ一部（圖面表示）
 - 矢口町ノ一部（圖面表示）
 - 池上町ノ一部（圖面表示）
 - 三北豊島郡内イ中「但シ第一商業地域之部ニ掲クルモノヲ除ク」ヲ「但シ第一商業地域之部（ロ第二十五號ヲ除ク）ニ掲クルモノヲ除ク」ニ改ム
 - 四南足立郡内イ中「及荒川放水路以北ノ部分」ヲ削リ左ノ通加フ
 - 綾瀬村ノ全部
 - 西新井町ノ一部（圖面表示）

梅島町ノ一部(圖面表示)

五南葛飾郡内イ中「但シ第一商業地域之部ニ掲クルモノヲ除ク」ヲ「但シ第一商業地域之部(口第二號ヲ除ク)ニ掲クルモノヲ除ク」ニ改メ左ノ通加フ

松江町ノ全部

本田町ノ全部

龜青村ノ全部

南綾瀬町ノ全部

新宿町ノ一部(圖面表示)

小岩町ノ一部(圖面表示)

金町ノ一部(圖面表示)

奥戸村ノ一部(圖面表示)

第四 住居地域之部

二 荏原郡内イ中左ノ通加フ

蒲田町ノ全部但シ大字女塚ノ一部(圖面表示)ヲ除ク

矢口町ノ全部

東調布町ノ全部

池上町ノ全部

馬込町ノ全部

荏原町ノ全部

碑衾町ノ全部

駒澤町ノ全部

世田谷町ノ全部

玉川村ノ全部 但シ大字野良田ノ一部(圖面表示)ヲ除ク

松澤村ノ全部

三豊多摩郡内イ中左ノ通定ム

戸塚町ノ全部 但シ大字戸塚大字下戸塚ノ一部(圖面表示)ヲ除ク

野方町ノ全部 但シ大字上沼袋ノ一部(圖面表示)ヲ除ク

和田堀町ノ全部

杉並町ノ全部 但シ大字高圓寺ノ一部(圖面表示)ヲ除ク

井荻町ノ全部

- 高井戸町ノ全部
- 四北豊島郡内イ中左ノ通加フ
- 上板橋村ノ全部
- 練馬町ノ全部
- 中新井村ノ全部
- 五及六ヲ左ノ通加フ
- 五 南足立郡内
- イ 左記区域内ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域及第二工業地域之部ニ掲クルモノヲ除ク
- 西新井町ノ全部
- 梅島町ノ全部
- 六 南葛飾郡内
- イ 左記区域内ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域及第二工業地域之部ニ掲クルモノヲ除ク
- 新宿町ノ全部
- 小岩町ノ全部
- 金町ノ全部

奥戸村ノ全部

(圖面省略)

●内務省告示第二百二十二號

大正十四年八月内務省告示第三百三十七號横濱都市計畫區域内ニ於ケル市街地建築物法第一條ノ規定ニ依ル地域左ノ通變更並指定シ昭和四年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年四月二十五日

内務大臣 望 月 圭 介

第一 商業地域之部

イ中

- 「表高島町ノ全部」ヲ「表高島町ノ一部(圖面表示)」ニ改ム
- 久保町字道上ノ一部ヲ圖面ノ通改ム
- 「大野町ノ全部」ヲ削ル
- 「林町ノ全部」ヲ削ル
- 「寶町ノ全部」ヲ削ル
- 神奈川町ヲ削ル

淺間町字鹿島、同字社宮司ノ一部ヲ圖面ノ通改ム

「山内町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部」ヲ左ノ通改ム

山内町一丁目ノ全部

山内町二丁目ノ一部(圖面表示)

大岡町ヲ削リ左ノ通加フ

鶴見區内

鶴見町、生麥町、東寺尾町ノ一部(圖面表示)

神奈川區内

神奈川町、六角橋町ノ一部(圖面表示)

中區内

通町、中島町、大橋町、大岡町、弘明寺町、中里町ノ一部(圖面表示)

保土ヶ谷區内

帷子町、天王町、宮田町、保土ヶ谷町、岩間上町、岩間下町ノ一部(圖面表示)

磯子區内

森町、中原町、杉田町ノ一部(圖面表示)

ロ(一)中左ノ通改ム

十 都市計畫街路第一號ノ内神奈川區神奈川町字浦島町百三十四番地ノ七地先ヨリ同百三十二番地地先迄表高島町乙ノ二番地地先ヨリ同乙ノ一番地ノ一地先迄及中區久保町字道上千五百五十二番地ノ一地先ヨリ保土ヶ谷區保土ヶ谷町字岩間終點迄

十二 都市計畫街路第五號ノ内神奈川區神奈川町字齊藤分三千五十番地イ號地先ヨリ六角橋南詰終點迄

二十二 削ル

二十六 鶴見區潮田町字向原千六百四十九番地地先ヨリ同字居村二千二百九十九番地地先ニ至ルノ

路線

二十七 鶴見區鶴見町字下町千十番地地先ヨリ潮見橋ヲ經テ潮田町字向原三百二十番地地先ニ至ルノ

ノ路線

二十八 鶴見區生麥町字八幡前千二百九十五番地地先ヨリ鶴見町、菅澤町ヲ經テ市場町千六百五十三番地ノ三地先川崎市境界ニ至ルノ路線

二十九 昭和三年五月内務省告示第百八號橫濱都市計畫道路補助線第四號ノ内鶴見區鶴見町昭和三年五月内務省告示第百八號橫濱都市計畫道路幹線(以下單ニ都市計畫道路幹線ト謂フ)第二

號交叉點ヨリ同町字豊岡四百一番地地先迄及同番地地先ヨリ同三百三十九番地地先ニ至ル路線

三十 都市計畫道路幹線第二號ノ内鶴見區鶴見町字豊岡七百七十五番地地先ヨリ同町同第二十六號

分岐點迄、同第二十六號及同第二十三號ノ内上末吉町同二十六號接合點ヨリ末吉橋南詰迄

三十一 都市計畫道路幹線第三號ノ内神奈川區神奈川町字西白樂二千百三十七番地ノ一地先ヨリ南

網島町字別所府縣道第十號神奈川溝ノ口線交叉點迄

三十二 都市計畫道路幹線第四號ノ内神奈川區六角橋町字池ノ下三百六十七番地地先ヨリ小机町市

郡境界終點迄

三十三 保土ヶ谷區宮田町字宮田六十八番地地先ヨリ同百十二番地ノ一地先ニ至ルノ路線及都市計

畫道路幹線第六號ノ内同百十二番地ノ一地先ヨリ川島町市郡境界終點迄但シ工業地域ニ屬スル

部分ヲ除ク

三十四 都市計畫道路幹線第七號ノ内神奈川區淺間町字社宮司起點ヨリ保土ヶ谷區保土ヶ谷町第二

十二號分岐點迄及保土ヶ谷町地内國道一號路線既改修區間

三十五 都市計畫道路幹線第十號ノ内第五號路線終點ヨリ中區日野町市郡境界終點迄

三十六 都市計畫道路幹線第二十九號ノ内中區笹下町同第十號交叉點ヨリ磯子區杉田町字宮田千四百

三十三番地ノ一地先迄

鶴見町、生麥町、上末吉町、下末吉町ノ一部(圖面表示)

中區内

中島町、大橋町ノ全部

永田町ノ一部(圖面表示)

保土ヶ谷區内

天王町ノ全部

帷子町、峰岡町、神戸下町 岩間下町、星川町、和田町、佛向町ノ一部(圖面表示)

第三 住居地域之部

左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地

横濱市ノ全部但シ左ノ區域ヲ除ク

第一商業地域之部第二工業地域之部ニ掲クルモノ

鶴見區内

獅子ヶ谷町、駒岡町ノ一部(圖面表示)

神奈川區内

南綱島町、北綱島町ノ全部

三十七 第二十五號路線終點ヨリ磯子區森町、中原町ヲ經テ杉田町字大道五百七十一番地ノ二地先
市郡境界ニ至ルノ路線

第二 工業地域之部中

「但シ第一商業地域之部ニ掲クルモノヲ除ク」ヲ「但シ第一商業地域之部（ロ）第三十三號ヲ除ク」ニ改ム

「高島町一丁目ノ全部」ノ次ニ左ノ通加フ

表高島町ノ全部

山内町二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

林町ノ全部

大野町ノ全部

寶町ノ全部

久保町字道上ノ一部ヲ圖面ノ通改ム

大岡町ヲ削リ左ノ通加フ

鶴見區内

江ヶ崎町、矢向町、市場町、平安町、菅澤町、潮田町、小野町、安善町、末廣町、ノ全部

菊名町、篠原町、大豆戸町、太尾町、大會根町、樽町、岸根町、鳥山町、小机町、師岡町ノ一部
（圖面表示）

横濱都市計畫久保町火葬場敷地

上大岡町火葬場、神大寺火葬場及西谷火葬場ノ敷地（圖面表示）

（圖面省略）

●内務省告示第五十七號

東京都市計畫河川ノ改修及其ノ事業執行年割左ノ通決定スルノ件昭和四年三月十四日内閣ノ認可ヲ得
タリ

昭和四年三月十八日

内務大臣 望 月 圭 介

第一、東京都市計畫河身整理ノ件左ノ通定ム

名稱	區 域	延 長(約)	幅員(約)	深度(零點下約)
荒 川	北豊島郡岩淵町ヨリ南葛飾郡寺島町東京市界ニ至ル	一四、〇〇六*	一〇〇乃* 至一六四	二乃至三*

（圖面省略）

第二、前項ノ計畫中南足立郡千住町大字千住三丁目ヨリ終點ニ至ル區間（左岸千住町千住三丁目ヨリ隅田町隅田ニ至ル區間及右岸南千住町大字地方橋場字汐入地内ニ屬スル河岸工事並東京市内ニ屬スル部分ヲ除ク）ヲ都市計畫事業トシテ昭和三年度ヨリ昭和六年度迄四箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通定ム

河身整理事業執行年割

- 昭和三年度 約二分
- 昭和四年度 約三割七分
- 昭和五年度 約三割七分
- 昭和六年度 約二割四分

第三、東京市區改正設計河川之部中隅田川改修ノ區間「鐘ヶ淵ヨリ永代橋ニ至ル」ヲ「南葛飾郡寺島町東京市界ヨリ永代橋ニ至ル」ニ、延長「三千八百間」ヲ「三千二百六十二間」ニ改ム

●内務省告示第六十號

大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫並都市計畫事業幹線街路ノ新設、改修及運河ノ新鑿、改修ハ大正十二年度ヨリ昭和四年度迄七箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和三年度以降ノ年割ヲ左ノ通改ムルノ件昭和四年三月十四日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年三月二十日

内務大臣 望 月 圭 介

一、街路ノ新設、改修事業執行年割

- 昭和三年度 約二割二分四厘
- 昭和四年度 約一割三分二厘

二、運河ノ新鑿、改修事業執行年割

- 昭和三年度 約三割五分
- 昭和四年度 約二割二分五厘

●内務省告示第六十一號

大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫事業公園ノ新設ハ大正十二年度ヨリ昭和四年度迄七箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和三年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ムルノ件昭和四年三月十四日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年三月二十日

内務大臣 望 月 圭 介

公園ノ新設事業執行年割

昭和三年度 約一割五厘
昭和四年度 約三割六分

●内務省告示第六十二號

大正十三年三月二十日內務省告示第三百三十三號東京都市計畫事業補助線街路ノ新設、改修ハ大正十二年度ヨリ昭和四年度迄七箇年度ニ又大正十三年七月四日內務省告示第四百二十四號東京都市計畫事業小公園ノ新設ハ大正十三年度ヨリ昭和四年度迄六箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和三年度以降ノ年割ヲ各左ノ通定ムルノ件昭和四年三月十四日內閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年三月二十日

內務大臣 望 月 圭 介

一、補助線街路ノ新設事業執行年割

昭和三年度 約五割九分二厘

昭和四年度 約七分

一、小公園ノ新設事業執行年割

昭和三年度 約三割

昭和四年度 約二割二分一厘

●内務省告示第六十三號

大正十三年十二月二十九日內務省告示第七百九十六號東京都市計畫東京市下水道事業ハ大正十三年度ヨリ昭和四年度迄六箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和三年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ムル件昭和四年三月十四日內閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年三月二十日

內務大臣 望 月 圭 介

東京市下水道事業執行年割

昭和三年度 約三割

昭和四年度 約三分五厘

●内務省告示第六十四號

大正十三年三月十一日內閣認可橫濱都市計畫事業街路ノ新設、改修ハ大正十二年度ヨリ昭和四年度迄七箇年度ニ又大正十三年十二月二十九日內務省告示第七百九十八號橫濱都市計畫事業運河ノ改修ハ大正十三年度ヨリ昭和四年度迄六箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和三年度以降ノ年割ヲ左ノ通改ムルノ件昭和四年三月十四日內閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年三月二十日

内務大臣 望 月 圭 介

一、街路ノ新設、改修事業執行年割

昭和三年度 約二割六分二厘

昭和四年度 約一分七厘

一、運河ノ改修事業執行年割

昭和三年度 約二割三分四厘

昭和四年度 約三分三厘

●内務省告示第六十五號

大正十四年一月二十六日内務省告示第十五號横濱都市計畫事業公園ノ新設ハ大正十三年度ヨリ昭和四年度迄六箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和三年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ムルノ件昭和四年三月十日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年三月二十日

内務大臣 望 月 圭 介

公園ノ新設事業執行年割

昭和三年度 約二割二分九厘

昭和四年度 約一割二分三厘

●内務省告示第六十六號

大正十三年五月二日内務省告示第二百八號横濱都市計畫事業街路ノ新設、改修ハ大正十三年度ヨリ昭和四年度迄六箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和三年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ムルノ件昭和四年三月十四日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年三月二十日

内務大臣 望 月 圭 介

街路ノ新設、改修事業執行年割

昭和三年度 約二割一分九厘

昭和四年度 約五厘

●内務省告示第六十七號

大正十五年三月六日内務省告示第二十六號横濱都市計畫河川改修事業ハ大正十四年度ヨリ昭和四年度迄五箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和三年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ムルノ件昭和四年三月十四日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年三月二十日

河川改修事業執行年割

昭和三年度 約三割六分七厘
昭和四年度 約二厘

内務大臣 望 月 圭 介

●内務省告示第九十六號

大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中第二號隅田公園ノ面積「約三萬九千六百坪」ヲ「約五萬二千六百六十坪」ニ改ムルノ件昭和四年六月十二日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年六月十五日

内務大臣 望 月 圭 介

●内務省告示第九十七號

東京都市計畫外濠改修及其ノ事業執行年割左ノ通決定スルノ件昭和四年六月十二日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年六月十五日

内務大臣 望 月 圭 介

第一 東京都市計畫外濠改修ノ件左ノ通定ム

名稱	區	延長(約)	幅員(約)
外濠	雉子橋下流ヨリ一ツ橋ニ至ル	二二五*	二七*
	一ツ橋ヨリ錦橋ニ至ル	一三八	三一
	錦橋ヨリ神田橋ニ至ル	三二一	三一
	常盤橋附近	三六	四〇

第二 前項ノ計畫ハ之ヲ都市計畫事業トシテ昭和四年度ニ於テ執行スルモノトス

●内務省告示第九十九號

大正十五年三月六日内務省告示第二十六號横濱都市計畫河川改修及其ノ事業執行年割中瀧ノ川反町支流ヲ左ノ通改ムルノ件昭和四年六月十二日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和四年六月十五日

内務大臣 望 月 圭 介

名稱	區	延長(約)	幅員(約)
瀧ノ川	反町支流 青木町栗田谷ヨリ境橋ニ至ル	一、二五五*	三、三乃至五、三*

●内務省告示第二百七十一號

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線街路第九號路綫及同第二十一號路綫ヲ左ノ通改ムル件昭和四年八月一日內閣ノ認可ヲ得タリ
昭和四年八月六日

內務大臣 安 達 謙 藏

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中幹線街路第九號路綫及同第二十一號路綫ヲ左ノ通改ム

番號 路 綫(起終點及經過地)

延長(約) 幅員

九 櫻田門外ヨリ新議院前廣場ニ至ル

五〇六^{*} 三六^{*}

二一 九段坂下ヨリ富士見町一丁目、半藏門前、三宅坂ヲ經テ新議院前廣場ニ至ル

一一、五一一 二七

◎內務省告示第二百七十二號

東京都市計畫街路及廣場ノ新設、改修並其ノ事業執行年割左ノ通決定スルノ件昭和四年八月一日內閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

昭和四年八月六日

內務大臣 安 達 謙 藏

第一 東京都市計畫街路及廣場ノ新設、改修ノ件左ノ通定ム

第一街 路

路綫 番號 路 綫 (起終點及經過地)

延長(約) 幅員

一 麴町區外櫻田町濠端ヨリ霞ヶ關一丁目、裏霞ヶ關、三年町、永田町二丁目ヲ經テ赤坂區溜池町ニ至ル

九五二^{*} 二七^{*}

二 麴町區永田町一丁目新議院正門前ヨリ三年町ニ至ル

三四〇 二二

三 麴町區永田町二丁目獨逸大使館前ヨリ同二丁目ヲ經テ赤坂區溜池町電車通リニ至ル

七六一 二二

五 麴町區外櫻田町地先海軍省前ヨリ新議院正門前ニ至ル

三四六 三三

六 麴町區永田町一丁目新議院貴族院正門前ヨリ永田町二丁目ニ至ル

二五三 二七

七 麴町區永田町一丁目地内

一一〇 一一

麴町區霞ヶ關一丁目電車通リヨリ新議院衆議院正門前ニ至ル

四一六 二二乃
至二七

八 霞ヶ關一丁目電車通リヨリ裏霞ヶ關八番地地先迄

二九八 二七

譯内 裏霞ヶ關八番地地先ヨリ霞ヶ關一丁目新議院衆議院正門前迄

一一八 二二

九 麴町區裏霞ヶ關ヨリ三年町ニ至ル

一二二 一八

一〇 麴町區三年町地内

八五六

二五一

一五

(圖面表示)

第二 廣 場

名稱 位 置

直徑(約)

面積(約)

議院前
廣場 麴町區永田町一丁目、外櫻田町及霞ヶ關一丁目ノ内

一〇九、一*

二、八〇〇^坪

(圖面表示)

第二 前項ノ計畫中左ノモノヲ都市計畫事業トシテ昭和四年度ニ於テ執行スルモノトス

第一 街 路

第三號路線中起點ヨリ第二號路線交叉點迄

518

10

518
101

